

《研究ノート》

ザクセン王国経済発展の基礎（7・完）

松 尾 展 成
(岡山大学名誉教授)

第15節 82年、95年と07年の家内工業就業者

82年、95年と07年の職業・営業調査では、家内工業（Hausindustrie, Hausgewerbe）の経営数と就業者数も調査された。その場合、家内工業経営者は、82年調査では、委託者（企業家、工場主、問屋など）から与えられた原料を、委託者のために自宅で加工する自立者⁽¹⁾とされた。95年調査では、家内工業経営者は、自宅で「他人」の計算のもとに作業する自立者であり、「他人」は問屋企業（Verlagsgeschäfte, Fabriken und selbständige Faktoreien）⁽²⁾であった。07年調査もほぼ同じで、家内工業経営者は、自宅で、あるいは、自身の、または、賃借した、作業場で、他人の計算のもとに作業する自立者⁽³⁾とされた。家内工業関係の数値には、家内工業経営者自身の申告によるものと、問屋企業の申告によるものがあった。95年以後の調査では原料供給の条件が外されている。複雑な家内工業問題に関する手がかりを、先ずW. クレープス論文に求めよう。以下では、家内工業経営を単に経営、家内工業就業者を就業者、経営指導者を経営者、経営指導者家族を経営者家族と略記する。また、82年調査の家内工業委託者を95年以後の調査と同じく問屋企業と記し、それと対比する場合に、家内工業経営者を下請経営者と記す。

クレープスは、82年、95年と07年に王国工業14大区分（以下で全工業と略記）の経営と就業者に占める、家内工業の比率の変化を第19（1）表のようにまとめている⁽⁴⁾。クレープスが提示する、以下の諸表では、82年の諸数値が修正されている、と考えられる。第19（1）表の「経営計」は、全工業経営王国計に占める、家内工業の比率で、低下の後、いくらか上昇したけれども、その比率は82年には及ばなかった。「就業者計」は、全工業就業者王国計に占める、家内工業の比率で、低下し続けた。すなわち、95年に8ポイント（pt）、07年に3pt低下し、82年の5割以下となった。表の「繊維経営」は、繊維工業経営王国計に占める、家内工業の比率で、僅かながら、上昇し続けた。「繊維経営」の比率は上記全工業「経営計」の比率よりも82年に36pt高かったが、07年には46ptも高くなった。家内工業経営の比率は、全工業経営では低下したけれども、繊維工業ではいくらか上昇した。「繊維就業者」は、繊維工業就業者王国計に占める、家内工業の比率である。同比率は大きく低下した。すなわち、95年に16pt、07年に10pt低下し、82年の5割以下となった。

家内工業経営者の申告に基づく、家内工業の経営数と就業者数は、82年、95年と07年に第19（2）表のように変化した⁽⁵⁾。同表（1）によれば、全工業経営王国計はこの四半世紀間に、減少の後に07年に増加したが、82年には及ばなかった。本業経営（Hauptbetriebe）の数の変化も同じであったが、副業経営（Nebenbetriebe）は増加し続けた。そのために、経営計に占める、本業経営の比率は、9割から8割に低下し、

第19（1）表 工業における家内工業の比率（1882-1907年）

経営計			就業者計			繊維経営計			繊維就業者計		
82年	95年	07年	82年	95年	07年	82年	95年	07年	82年	95年	07年
43%	36%	39%	20%	12%	9%	79%	83%	85%	47%	31%	21%

第19 (2) 表 家内工業経営数と就業者 (1882-1907年)

(1) 経営

年	経営計		本業		副業		繊維計		繊維本業		繊維副業	
1882	120,686	[100%]	108,539	[90%]	12,147	[10%]	97,008	[80%]	86,614	[72%]	10,394	[8.6%]
1895	94,858	[100%]	80,304	[85%]	14,554	[15%]	70,739	[75%]	59,395	[63%]	11,344	[12.0%]
1907	115,084	[100%]	91,984	[80%]	23,098	[20%]	64,811	[56%]	51,443	[45%]	13,368	[11.6%]

(2) 就業者

年	就業者計		男性		女性		繊維計		繊維男性		繊維女性	
1882	137,873	[100%]	79,865	[58%]	58,008	[42%]	112,003	[81%]	72,048	[52%]	39,955	[29%]
1895	108,713	[100%]	53,515	[49%]	55,198	[51%]	81,450	[75%]	40,463	[37%]	40,987	[38%]
1907	117,000	[100%]	36,728	[31%]	80,272	[69%]	69,012	[59%]	23,731	[20%]	45,281	[39%]

副業経営の比率は1割から2割に上昇した。繊維工業経営数は減少し続け、経営王国計に占める、繊維工業の比率は8割から24pt低下した。繊維工業家内工業の中の本業経営は減少し続け、その比率は経営王国計の72%から07年には27pt低下して、5割を下回った。繊維工業の副業経営は増加し続け、その比率は82年よりもいくらか上昇した。また、全工業就業者数(同表(2))は減少の後に、07年に増加したが、82年には及ばなかった。男性就業者は減少し続け、全工業就業者中の男性の比率は低下し続けた。女性就業者は減少の後に著しく増加した。就業者中の女性の比率は上昇し続け、95年に男性の比率を凌駕し、07年には男性の比率の2倍を超えた。繊維工業就業者は減少し続けた。就業者計に占める、繊維工業の比率は、低下し続け、82年から07年までに22pt低下した。もちろん、上記繊維工業2指標の比率は低下したとしても、経営数(56%)と就業者数(59%)において、07年の繊維工業家内工業は王国家内工業の中で最大であった。繊維工業男性就業者は減少し続けた。全工業男性就業者王国計の比率は、上記のように、27pt低下したが、繊維工業男性の低下は一層大きく、32ptに達した。また、同比率は5割以上から95年に4割を下回った。繊維工業女性就業者は増加し続け、その比率は07年に82年よりも10pt上昇した。女性の比率は95年に男性の比率を僅かに上回り、07年には男性の比率の2倍近くに上昇した。

問屋企業の申告に基づく、その経営数と、それが就業させている人(下請就業者)は、82年、95年と07年の繊維工業と工業14大区分計について、第19(3)表⁽⁶⁾のとおりであった。[%]は、各指標の全工業を100とした、繊維工業の比率である。同表によれば、全工業の問屋企業数は増加し続けた。繊維工業のそれは減少した後、82年よりも増加した。下請就業者計は全工業では減少の後、82年以上に増加した。繊維工業のそれは減少した後で、増加したけれども、82年には及ばなかった。その中で男性就業者は全工業でも繊維工業でも減少し続けた。女性就業者は全工業でも繊維工業でも増加し続け、95年に男性を上回り、07年には男性の3倍を超えた。全工業に対する繊維工業の問屋企業計、下請就業者計、男性就業者と女性就業者の比率、[%]は、低下し続けた。繊維工業問屋企業とその下請就業者は全工業の中の比率を低下させたとしても、07年に全工業の中で最大(比率で経営の50%、就業者計の55%)であった。

金属・機械・繊維工業家内工業の中で、07年に2千人以上の就業者を持つ業種は、繊維工業にのみ9あった。この9業種の経営計、本業経営、就業者計と女性就業者は、家内工業経営者の申告によれば、82年から07年までに第19(4)表のように推移した⁽⁷⁾。本表の経営計から本業経営を差し引いたものが、副業経

第19 (3) 表 問屋企業経営数と下請就業者 (1882-1907年)

	問屋企業経営計			下請就業者男性			下請就業者女性			下請就業者計		
	82年	95年	07年	82年	95年	07年	82年	95年	07年	82年	95年	07年
繊維工業	2,961	2,741	3,164	62,461	36,315	23,385	42,920	52,007	77,829	105,381	88,322	101,214
	[60%]	[52%]	[50%]	[88%]	[78%]	[61%]	[70%]	[65%]	[54%]	[80%]	[70%]	[55%]
全工業 [100%]	4,939	5,274	6,347	70,613	46,548	38,053	61,356	79,829	145,103	131,969	126,377	183,156

営で、就業者計から女性を差し引いたものが、男性就業者である（いずれも本表非表示）。経営計の（％）は、繊維工業経営計に占める、各業種の比率で、本業経営の〔％〕は、各業種経営計に占める、本業経営の比率である。就業者の〈％〉は、繊維工業就業者計に占める、各業種の比率で、女性就業者の〔％〕は、各業種の就業者計に占める、女性の比率である。

同表（1）によれば、9業種の中で経営計と本業経営の数は靴下製造業が3調査年とも最大であった。繊維工業計、および、織物工業4業種⁽⁸⁾と靴下製造業の経営計と本業経営は減少し続けた。特に麻織物工業と交織物工業の本業経営は1/3に激減した。レース製造業とレース漂白業の経営計と本業経営は増加し続けた。刺繍業の経営計と本業経営は減少の後、激増した。組紐製造業の経営計は微増の後、82年以下に減少したが、本業経営は減少し続けた。繊維工業経営計に占める比率で見ると、織物工業4業種の比率は低下し続けた。靴下製造業のそれは微増し、刺繍業、レース製造業とレース漂白業の比率は上昇し続けた。組紐製造業のそれは上昇の後、低下した。経営計に占める、本業経営の比率は、繊維工業計では低下したけれども、82年と07年を取ると、毛織物工業、綿織物工業と交織物工業では上昇した。同比率は、07年のレース漂白業（56％）を除いて、大部分が7割以上であった。

同表（2）によれば、9業種の中で就業者数最大の業種は95年まで靴下製造業であったが、07年にはレース製造業が最大となった。就業者は繊維工業計と6業種で減少した。その中の4業種、毛織物工業、綿織物工業、靴下製造業と組紐製造業で半減し、残る2業種、麻織物工業と交織物工業では1/3に激減した。それに対して、就業者は刺繍業で2倍に、レース製造業で3倍に増加し、レース漂白業では7倍に激増した。そのために、繊維工業就業者計に占める、麻織物工業、綿織物工業、交織物工業と靴下製造業の比率は低下し、刺繍業とレース漂白業（ただし、この2業種の比率は低い）の比率が上昇し、特にレース製造業の

第19（4）表 繊維工業9業種家内工業の推移（1882-1907年）

(1) 経営

	経営計						本業経営					
	82年		95年		07年		82年		95年		07年	
毛織物工業	8,310	(9%)	5,928	(8%)	3,709	(6%)	7,449	[90%]	5,587	[94%]	3,362	[91%]
麻織物工業	11,919	(12%)	6,248	(8%)	4,389	(7%)	10,385	[87%]	5,393	[86%]	3,456	[79%]
綿織物工業	21,220	(22%)	12,600	(18%)	8,324	(13%)	18,124	[85%]	11,295	[90%]	7,420	[89%]
交織物工業	9,837	(10%)	5,879	(8%)	2,895	(4%)	8,860	[90%]	5,317	[90%]	2,807	[97%]
靴下製造業	21,701	(22%)	17,014	(24%)	16,457	(25%)	20,426	[94%]	13,798	[81%]	13,397	[81%]
刺繍業	1,226	(1%)	992	(1%)	2,369	(4%)	1,014	[83%]	807	[81%]	1,641	[69%]
レース製造業	3,737	(4%)	6,675	(9%)	10,286	(16%)	3,453	[92%]	5,869	[88%]	8,454	[82%]
レース漂白業	377	(0.4%)	723	(1%)	4,141	(6%)	336	[89%]	524	[72%]	2,301	[56%]
組紐製造業	12,571	(13%)	13,048	(18%)	8,767	(14%)	11,356	[90%]	9,508	[73%]	6,171	[70%]
繊維工業計	97,008	(100%)	70,739	(100%)	64,811	(100%)	86,614	[89%]	59,395	[84%]	51,443	[79%]

(2) 就業者

	就業者計						就業者女性					
	82年		95年		07年		82年		95年		07年	
毛織物工業	9,243	〈8%〉	7,940	〈10%〉	4,676	〈7%〉	1,612	[17%]	2,079	[26%]	2,193	[47%]
麻織物工業	12,965	〈12%〉	7,688	〈9%〉	4,011	〈6%〉	4,451	[34%]	3,281	[46%]	2,533	[63%]
綿織物工業	21,964	〈20%〉	13,910	〈17%〉	9,650	〈14%〉	6,415	[29%]	6,170	[44%]	5,855	[61%]
交織物工業	11,706	〈10%〉	7,080	〈9%〉	4,290	〈6%〉	1,937	[17%]	2,308	[33%]	2,005	[47%]
靴下製造業	30,513	〈27%〉	19,211	〈24%〉	15,401	〈22%〉	5,541	[18%]	8,116	[42%]	10,687	[69%]
刺繍業	1,237	〈1%〉	1,270	〈2%〉	2,446	〈4%〉	1,163	[94%]	1,058	[83%]	1,735	[71%]
レース製造業	5,504	〈5%〉	11,787	〈14%〉	16,991	〈25%〉	3,582	[65%]	7,628	[65%]	9,830	[58%]
レース漂白業	338	〈0.3%〉	540	〈0.7%〉	2,324	〈3%〉	329	[97%]	529	[98%]	2,278	[98%]
組紐製造業	12,849	〈11%〉	10,570	〈13%〉	6,567	〈10%〉	9,851	[77%]	8,634	[82%]	5,884	[90%]
繊維工業計	112,003	〈100%〉	81,450	〈100%〉	69,012	〈100%〉	39,955	[36%]	40,987	[50%]	45,281	[66%]

比率上昇が顕著であった。毛織物工業と組紐製造業の比率は僅かに上昇した後に、82年よりも低くなった。就業者計に占める、女性の比率は、繊維工業計、織物業4業種、靴下製造業と組紐製造業で上昇した。女性比率は組紐製造業で既に82年に8割に近かったが、07年に9割となった。07年に麻織物工業、綿織物工業と靴下製造業が6割を超え、毛織物工業と交織物工業も5割に近づいた。それに対して、刺繍業の同比率は23pt低下し、レース製造業とレース漂白業の比率はほぼ同じであった（レース製造業は約6割で、レース漂白業は100%に近かった）。そのために女性全体の比率は2倍近くに上昇した。

繊維工業家内工業（以下では単に家内工業と略記）については、クレプスが検討していない統計も、単年度ではあるけれども、存在する。まず、82年の問屋企業の業種別・規模別経営数と下請就業者中の本業従事者の統計をまとめたものが、第19（5）表である⁽⁹⁾。同表（1）の問屋企業の規模「-10」は本業としての下請就業者10人以下の、「1,001-」は同1,001人以上の経営を指し、同表（2）の経営計は下請家内工業経営計で、「本業」はその中の本業経営を指す。下請就業者のうち、直接取引者は、問屋企業と直接取引している人（Unmittelbar beschäftigte Personen）＝下請経営者である。補助者は上記下請経営者の補助者で、労働者を含む。各業種「本業」の〈%〉は、各業種経営計に占める、本業経営の比率で、直接取引者など各種就業者の〔%〕は、各業種就業者計に占める、各種就業者の比率である。なお、①下請経営計から下請本業経営を差し引いた数値が下請副業経営である。②直接取引者、補助者と就業者計からそれぞれ女性を差し引いたものが男性の人数である。③下請就業者計の計の比率、〔100%〕は省略した。

同表（1）によれば、82年の9業種問屋企業の中で、靴下製造業のそれが最も多かった。また、交織物工業だけでは、下請就業者11-50人の問屋企業が、10人以下の企業よりも多かったが、他の8業種では、10人以下の企業が多かった。特に麻織物工業、靴下製造業と靴下仕上業では、10人以下の問屋企業の数が11-50人の企業の約2倍であった。下請就業者が201人以上、特に1,001人以上の問屋企業は極めて少数であった（両者の合計3%）。

同表（2）によれば、下請家内工業の経営計、本業経営と就業者計は9業種の中で靴下製造業が最も多かつ

第19（5）表 繊維工業問屋企業（業種別、1882年）

（1）問屋企業の規模

人数	-10	11-50	51-200	201-1,000	1,001-	計	人数	-10	11-50	51-200	201-1,000	1,001-	計
毛織物工業	146	119	47	11	0	314	刺繍業	32	21	13	6	0	72
麻織物工業	283	143	45	12	1	484	レース製造業	48	52	15	4	0	119
綿織物工業	168	137	44	8	1	358	靴下製造業	110	46	15	4	0	175
交織物工業	57	89	43	12	0	201	組紐製造業	231	172	39	11	1	454
靴下製造業	413	224	39	16	1	693	繊維工業計	1,545	1,019	308	85	4	2,961

第19（5）表（2）

（2）下請経営数と就業者

	経営計 〈100%〉	本業		直接取引者				補助者				就業者計	
				女性		計		女性		計		女性	計
毛織物工業	3,207	1,413	〈44%〉	1,695	〔14%〕	10,284	〔85%〕	959	〔8%〕	1,747	〔15%〕	2,654	〔22%〕 12,031
麻織物工業	4,666	2,686	〈58%〉	3,410	〔23%〕	11,174	〔75%〕	1,955	〔13%〕	3,789	〔25%〕	5,365	〔36%〕 14,963
綿織物工業	6,803	2,965	〈44%〉	3,481	〔26%〕	11,273	〔83%〕	1,031	〔8%〕	2,358	〔17%〕	4,512	〔33%〕 13,631
交織物工業	5,117	2,271	〈44%〉	2,111	〔16%〕	9,857	〔75%〕	954	〔7%〕	3,367	〔25%〕	3,065	〔23%〕 13,224
靴下製造業	14,984	4,897	〈33%〉	1,710	〔9%〕	11,348	〔56%〕	1,121	〔6%〕	8,749	〔44%〕	2,831	〔14%〕 20,097
刺繍業	267	44	〈16%〉	3,400	〔80%〕	3,471	〔82%〕	775	〔18%〕	775	〔18%〕	4,175	〔98%〕 4,246
レース製造業	2,755	704	〈26%〉	2,545	〔52%〕	3,341	〔68%〕	1,176	〔24%〕	1,556	〔32%〕	3,721	〔76%〕 4,897
靴下仕上業	374	118	〈32%〉	3,029	〔61%〕	3,111	〔62%〕	1,876	〔38%〕	1,890	〔38%〕	4,905	〔98%〕 5,001
組紐製造業	2,112	619	〈29%〉	8,489	〔55%〕	10,586	〔68%〕	2,276	〔15%〕	4,960	〔32%〕	10,765	〔69%〕 15,546
繊維工業計	40,655	15,266	〈38%〉	30,638	〔29%〕	75,915	〔72%〕	12,282	〔12%〕	29,466	〔28%〕	42,920	〔41%〕 105,381

た。経営計に占める、本業経営の比率は、繊維工業計では4割に達しなかった。同比率は、それが9業種の中で最も低い刺繍業では、2割以下で、最も高い麻織物工業では6割に近く、他の織物工業3業種も4割を超えていた。就業者計に対して女性は繊維工業計で4割を占めたけれども、同比率は業種によって大きく異なっていた。刺繍業と靴下仕上業では女性が圧倒の多数であったが、女性比率は毛織物工業と交織物工業で低く、靴下製造業では最も低かった（14%）。就業者計において直接取引者（下請経営者）（就業者計の72%）は補助者（28%）の2.5倍以上であった。（下請経営者）男性は、繊維工業計で女性の約1.5倍であり、麻織物工業と綿織物工業で2倍、交織物工業、レース製造業と組紐製造業で3－4倍、毛織物工業と靴下製造業で5倍、であった。それに対して、下請経営者女性は刺繍業で男性の40倍、靴下仕上業で60倍、に達していた。補助者において、男性は、繊維工業計で女性の1.6倍、交織物工業2.5倍、靴下製造業6.3倍であり、他の織物工業3業種と組紐製造業で女性とほぼ同数、レース製造業では女性の1/3のみであり、刺繍業と靴下仕上業では男性はゼロであった。

次に、95年について、まず、家内工業経営者の申告に基づく、経営規模別数値が公表されている。繊維工業の本業就業者のみを抜き出すと、第19（6）表⁽¹⁰⁾のようになる。

家内工業本業就業者の9割は家長（男性が本業就業者計の5割弱、女性4割余り）であった。本業就業者の大部分は、単独就業者経営（Alleinbetriebe）（男性が同3割余り、女性4割余り）に属した。複数就業者経営（Gehilfenbetriebe）のうち、就業者2－5人（したがって、補助者1－4人）の経営に属する就業者は、本業就業者の23%で、その中の5割以上は男性家長であり、その経営はそれぞれ就業者の約3%の妻、息子と娘に支えられていた（性別にまとめると、息子3.4%、妻・娘5.6%）。6－10人経営の本業就業者は本業就業者の1%余りで、11人以上経営の就業者は同0.5%余りであった（その大部分は男性家長）。本業就業者2人以上の全経営の女性家長と本業就業者6人以上の全経営の家族は極めて少なかった。

95年に関して、次に、家内工業経営者の申告に基づく、家内工業各業種の経営数と就業者の階層構成の数値も公表された。第19（7）表は繊維工業の数値⁽¹¹⁾である。単独就業者経営は原表では、原動機を持たない単独就業者経営で、複数就業者経営は原表では、共有者、補助者（労働者を含む）、あるいは、原動機、を持つ経営である。就業者は全て本業のそれで、「家族」は、（経営者と）協働する家族である。単独就業者経営計と複数就業者経営計からそれぞれの本業経営を差し引いたものが、副業経営である。[%]は、就業者計に占める、各区分の比率である。就業者計の計の比率、[100%]は省略した。

9業種の中で単独就業者本業経営は靴下製造業が最も多く、複数就業者本業経営は綿織物工業が最も多かった。単独就業者本業経営は同区分繊維工業計の81%を占め、9業種の比率ではレース漂白業と組紐製造業が最も低く（72%）、毛織物工業が最も高かった（92%）。複数就業者経営に関して、副業経営は繊維工業計の実数で59のみで、各業種の実数は極めて少数であったから、その大部分が本業経営であった。単独就業者経営は繊維工業計で複数就業者経営の4.6倍で、毛織物工業、麻織物工業、交織物工業とレース

第19（6）表 家内工業の経営規模別就業者（1895年）

就業者数		1人	2－5人	6－10人	11人－	就業者計
家長	男性	21,694 <34%>	8,457 <13.1%>	451 <0.70%>	255 <0.39%>	30,857 <48%>
	女性	26,916 <42%>	583 <0.9%>	15 <0.02%>	6 <0.01%>	27,520 <43%>
家族	妻		1,746 <2.7%>	20 <0.03%>	9 <0.01%>	1,775 <2.7%>
	息子		2,215 <3.4%>	132 <0.20%>	33 <0.05%>	2,380 <3.7%>
	娘		1,906 <2.9%>	156 <0.24%>	42 <0.06%>	2,104 <3.3%>
男性計		21,694 <34%>	10,672 <16.5%>	583 <0.90%>	288 <0.45%>	33,237 <51%>
女性計		26,916 <42%>	4,235 <6.6%>	191 <0.30%>	57 <0.08%>	31,399 <49%>
就業者計		48,610 <75%>	14,907 <23%>	774 <1.20%>	345 <0.53%>	64,636 <100%>

第19 (7) 表 家内工業の経営と就業者 (業種別, 1895年)

	単独就業者経営				複数就業者経営								就業者		
	本業	計	男性	女性	本業	計	経営者				補助者				計
							男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
毛織物工業	3,989	4,327	3,196 [40%]	793 [10%]	1,598	1,599	1,471 [19%]	52 [0.7%]	1,128 [14%]	287 [4%]	66 [0.8%]	951 [12%]	5,861 [74%]	2,079 [26%]	7,940
麻織物工業	3,877	4,715	2,281 [32%]	1,596 [23%]	1,516	1,533	1,135 [16%]	132 [2%]	356 [5%]	503 [7%]	35 [0.5%]	1,050 [15%]	3,807 [54%]	3,281 [46%]	7,088
綿織物工業	9,328	10,614	5,320 [38%]	4,008 [29%]	1,967	1,986	1,683 [12%]	115 [0.8%]	639 [5%]	459 [3%]	98 [0.7%]	1,588 [11%]	7,740 [56%]	6,170 [44%]	13,910
交織物工業	4,067	4,626	2,826 [40%]	1,241 [18%]	1,250	1,253	1,135 [16%]	56 [0.8%]	781 [11%]	411 [6%]	30 [0.4%]	600 [8%]	4,772 [67%]	2,308 [33%]	7,080
靴下製造業	12,021	15,232	6,320 [33%]	5,701 [30%]	1,777	1,782	1,625 [8%]	60 [0.3%]	3,094 [16%]	1,851 [10%]	56 [0.3%]	504 [3%]	11,095 [58%]	8,116 [42%]	19,211
刺繍業	654	838	47 [4%]	607 [48%]	153	154	106 [8%]	29 [2%]	59 [5%]	383 [30%]	0 [-]	39 [3%]	212 [17%]	1,058 [83%]	1,270
レース製造業	4,157	4,960	121 [1%]	4,036 [34%]	1,712	1,715	1,556 [13%]	45 [0.4%]	2,356 [20%]	3,147 [27%]	126 [1%]	370 [3%]	4,159 [35%]	7,628 [65%]	11,787
レース漂白業	530	719	11 [2%]	509 [94%]	4	4	0 [-]	3 [0.6%]	0 [-]	15 [3%]	0 [-]	2 [0.4%]	11 [2%]	529 [98%]	540
組紐製造業	9,027	12,558	1,267 [12%]	7,760 [73%]	481	490	357 [3%]	75 [0.7%]	238 [2%]	468 [4%]	74 [0.7%]	331 [3%]	1,936 [18%]	8,634 [82%]	10,570
繊維工業計	48,694	59,979	21,649 [27%]	27,045 [33%]	10,701	10,760	9,271 [11%]	583 [0.7%]	9,047 [11%]	7,828 [10%]	496 [0.6%]	5,531 [7%]	40,463 [50%]	40,987 [50%]	81,450

製造業約2.4－3.3倍, 綿織物工業, 靴下製造業と刺繍業約4－7倍, であり, 特に, 組紐製造業 (19倍) とレース漂白業 (130倍) では単独就業者経営が圧倒的であった。

9業種の中で就業者計は靴下製造業が, 単独就業経営の経営者は靴下製造業が, 複数就業者経営の経営者と経営者家族は綿織物工業が, 補助者はレース製造業が, 人数最大であった。就業者計中の男女比率は繊維工業計で同率であった。男性の同比率は, 毛織物工業で最も高く (74%), 次が交織物工業 (67%) で, 他の2織物工業と靴下製造業は約55%であった。それに対して, 同比率はレース製造業35%, 刺繍業と組紐製造業2割以下で, レース漂白業は僅か2%であった。就業者計に占める, 単独就業者経営の経営者の比率は繊維工業計で60% (女性33%) で, 女性の比率が男性よりも僅かに高かった。綿織物工業67% (女性29%), 靴下製造業63% (同30%), 交織物工業58% (同18%), 麻織物工業55% (同23%), 毛織物工業50% (同10%), 以上5業種で単独就業者経営の経営者が就業者計の5割以上を占め, しかも, 男性比率が女性を上回った。特に毛織物工業では男性就業者が多く, 女性の4倍であり, 交織物工業も2倍超であった。レース漂白業96% (女性94%), 組紐製造業85% (同73%) と刺繍業52% (同48%) の3業種では単独就業者経営の経営者が就業者の5－9割を占めたが, レース製造業35% (同34%) だけは経営者が就業者の4割以下であった。これらの4業種では女性比率が男性よりも遥かに高かった。特にレース漂白業では, 就業者計に対する単独就業者経営の経営者の比率が, そして, その中の女性の比率が, 圧倒的に高かった。

複数就業者経営の経営者は綿織物工業が人数最大であった。複数就業者経営の経営者は繊維工業計で就業者の12%を占めた。毛織物工業, 麻織物工業と交織物工業で17－20%, 綿織物工業, 刺繍業とレース製造業で10－13%, 靴下製造業, レース漂白業と組紐製造業で1－8%であった。男女別では, 同比率が最も低い組紐製造業でのみ, 女性経営者は1%で, 男性 (0%) よりも高かったが, 他の8業種では女性経営者の比率は極めて低かった。補助者はレース製造業が人数最大であった。就業者計に占める, 補助者の比率は繊維工業計で21% (女性10%) であった。同比率はレース漂白業3% (女性3%), 組紐製造業6% (同4%) と綿織物工業8% (同3%) で極めて低かった。麻織物工業12% (女性7%), 交織物工業17% (同6%), 毛織物工業18% (同4%), と続き, 靴下製造業26% (同10%) で就業者の1/4を超え, 刺繍業35% (同30%) で1/3を超え, 最も高いレース製造業47% (同27%) で5割に近づいた。男女別では, 男性は繊維工業計, 毛織物工業, 綿織物工業, 交織物工業と靴下製造業で女性よりも多く, 他の5業種で少なかった。経営者家族は綿織物工業が人数最大であった。就業者計に占める, 経営者家族の比率は繊維工業計で8% (女性7%) であった。同比率は, 最も高い麻織物工業で16% (女性15%), 次が毛織物工業13% (同12%), 綿織物工業12% (同11%), 交織物工業8% (同8%) で, 織物工業以外の5業種は4%以下であった。男女別では女性が圧倒的に多かった。

第19 (8) 表 問屋企業の規模と就業者 (1895年)

	経営計	－10人		11－50人		51人－		下請経営者		補助者		就業者計				
								男性	女性	男性	女性					
毛織物工業	196	93	(47%)	70	(36%)	33	(17%)	4,935	(54%)	2,484	(27%)	713	(8%)	1,004	(11%)	9,136
麻織物工業	275	156	(57%)	84	(31%)	35	(13%)	3,620	(41%)	4,165	(47%)	371	(4%)	625	(7%)	8,781
綿織物工業	250	109	(44%)	93	(37%)	48	(19%)	4,852	(52%)	3,908	(42%)	256	(3%)	397	(4%)	9,413
交織物工業	323	119	(37%)	107	(33%)	97	(30%)	11,279	(58%)	7,251	(37%)	525	(3%)	449	(2%)	19,504
靴下製造業	763	479	(63%)	226	(30%)	58	(8%)	5,176	(40%)	6,787	(52%)	469	(4%)	532	(4%)	12,964
刺繡業	62	33	(53%)	22	(35%)	7	(11%)	87	(2%)	3,336	(95%)	0	(－)	106	(3%)	3,529
レース製造業	290	117	(40%)	104	(36%)	69	(24%)	2,399	(18%)	7,946	(59%)	340	(3%)	2,760	(21%)	13,445
羊毛染色業	11	5	(45%)	5	(45%)	1	(9%)	3	(0.3%)	948	(99.7%)	0	(－)	0	(－)	951
組紐製造業	467	251	(54%)	181	(39%)	35	(7%)	971	(11%)	7,901	(85%)	0	(－)	370	(4%)	9,242
繊維工業計	2,741	1,433	(52%)	918	(33%)	390	(14%)	33,614	(38%)	45,712	(52%)	2,701	(3%)	6,295	(7%)	88,322

第3に、問屋企業家の申告に基づく、問屋企業の規模別経営数、および、彼らと直接取引する家内工業本業・副業就業者の男女別人数、は第19 (8) 表のとおりであった⁽¹²⁾。問屋企業経営の規模別3区分のうち、「-10人」は直接取引者10人以下、「11-50人」は同11人から50人まで、「51人-」は、同51人以上、の問屋企業を指す。経営規模区分の(%)は、各業種経営計に占める、各経営規模区分の比率で、就業者の(%)は、各業種就業者計に占める、下請経営者男女と補助者・労働者男女の比率である。問屋企業経営計の比率、(100%)と就業者計の比率、(100%)は省略した。

9業種の中で問屋企業経営計と50人以下経営は靴下製造業が最も多く、51人以上経営は交織物工業が最も多かった。3区分経営の比率で見ると、10人以下経営は靴下製造業が最も高く、11-50人経営は組紐製造業が最も高く、51人以上経営は交織物工業が最も高かった(羊毛染色業は少数のために無視)。家内工業の就業者計は9業種の中で交織物工業が最大であった。下請経営者のうち男性は交織物工業が最も多く、女性はレース製造業が最も多かった。就業者計に占める、男性経営者の比率は、毛織物工業、綿織物工業と交織物工業が5割を超え(52-58%)、麻織物工業と靴下製造業が約4割、他の4業種は2割以下で、特に刺繍業と羊毛染色業は2%以下であった。同じく、女性経営者の比率は、毛織物工業が最も低く(27%)、他の3織物工業が37-47%、4織物工業以外の5業種は5割以上、特に刺繍業と羊毛染色業は9割以上であった。補助者男女合計はレース製造業が飛び抜けて最大であった。補助者の合計比率は、経営者男女の合計比率が最も低いレース製造業で24%(女性21%)、経営者比率が次に低い毛織物工業で19%(女性11%)であり、他の7業種で11%以下であった。特に刺繍業、羊毛染色業と組紐製造業では男性比率が0%であった。

07年の家内工業については、業種別・規模別経営数、および、経営者、労働者と経営者家族の数が公表されている。繊維工業の数値が第19 (9) 表である⁽¹³⁾。「本業」は本業経営、「単独」は本業経営の「単独就業者経営」、「2-3人」は、就業者2-3人の経営、「4人-」は就業者4人以上、の経営を指す。就業者計(本表で100%)は、第19 (4) 表の07年のそれと同じであるので、本表には表示しない。経営計の比率、(100%)は省略した。

同表(1)によれば、07年に、経営計、「本業」と「単独」は靴下製造業が最大で、2-3人経営と4人以上経営はレース製造業が最大であった。レース漂白業を除く8業種において、経営の大部分が本業経営であり、交織物工業を除いて、本業経営の多くが単独就業者経営であった。2-3人経営は、繊維工業計で単独就業者経営の約1/4を占めており、その比率は交織物工業で最も高く(経営計の46%で、単独就業者経営の比率よりも5%低い)、毛織物工業(31%)、レース製造業(25%)、綿織物工業(23%)が続いた。4人以上経営は繊維工業計の1.8%で、その大部分はレース製造業に属した。同表(2)によれば、就業者の中で経営者は靴下製造業が、労働者はレース製造業が、経営者家族は綿織物工業が最大であった。繊維工業計で経営者は就業者の74%を占めた。経営者は、麻織物工業と靴下製造業で8割を、組紐製造業

第19 (9) 表 業種別経営数と就業者 (1907年)

(1) 経営

	経営計	本業		単独		2 - 3 人		4 人 -	
毛織物工業	3,602	3,263	〈91%〉	2,136	〈59%〉	1,100	〈31%〉	27	〈0.7%〉
麻織物工業	4,389	3,456	〈79%〉	2,897	〈66%〉	552	〈13%〉	7	〈0.2%〉
綿織物工業	8,324	7,420	〈89%〉	5,473	〈66%〉	1,905	〈23%〉	42	〈0.5%〉
交織物工業	2,895	2,807	〈97%〉	1,468	〈51%〉	1,323	〈46%〉	16	〈0.6%〉
靴下製造業	16,457	13,397	〈81%〉	11,910	〈72%〉	1,384	〈8%〉	103	〈0.6%〉
刺繍業	2,369	1,641	〈69%〉	1,351	〈49%〉	431	〈18%〉	59	〈2.5%〉
レース製造業	10,286	8,454	〈82%〉	5,017	〈49%〉	2,537	〈25%〉	870	〈8.5%〉
レース漂白業	4,141	2,301	〈56%〉	2,282	〈55%〉	19	〈0.4%〉	0	〈-〉
組紐製造業	8,767	6,171	〈70%〉	5,858	〈67%〉	308	〈4%〉	5	〈0.6%〉
繊維工業計	64,809	51,443	〈79%〉	40,563	〈63%〉	9,741	〈15%〉	1,139	〈1.8%〉

(2) 就業者

	経営者				労働者				家族			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性	
毛織物工業	2,143	[47%]	1,072	[24%]	138	[3%]	94	[2%]	127	[3%]	978	[21%]
麻織物工業	1,363	[34%]	2,016	[50%]	45	[1%]	53	[1%]	70	[2%]	464	[12%]
綿織物工業	3,331	[35%]	3,987	[41%]	232	[2%]	297	[3%]	232	[2%]	1,571	[16%]
交織物工業	2,050	[48%]	706	[16%]	143	[3%]	139	[3%]	83	[2%]	1,160	[27%]
靴下製造業	4,193	[27%]	9,136	[59%]	418	[3%]	493	[3%]	103	[1%]	1,058	[7%]
刺繍業	444	[18%]	1,173	[48%]	231	[9%]	332	[14%]	36	[1%]	230	[9%]
レース製造業	3,775	[22%]	4,602	[27%]	3,191	[19%]	3,716	[22%]	195	[1%]	1,512	[9%]
レース漂白業	41	[2%]	2,256	[97%]	1	[-]	13	[1%]	4	[0.2%]	3	[0.1%]
組紐製造業	593	[9%]	5,564	[85%]	52	[0.8%]	168	[3%]	38	[1%]	212	[3%]
繊維工業計	18,319	[27%]	32,659	[47%]	4,482	[6%]	5,288	[8%]	930	[1%]	7,334	[11%]

で就業者の9割を超え、レース漂白業では99%に達していたが、レース製造業だけは5割以下(49%)であった。労働者の比率は、繊維工業計で就業者の14%で、多くの業種で6%以下であったけれども、刺繍業は23%で、レース製造業は最も高く、41%であった。経営者家族の比率は繊維工業計で12%を占めた。レース製造業と刺繍業では、経営者の比率が低かったけれども、労働者の比率が高かったために、家族の比率は1割に留まった。経営者の比率も労働者の比率も低かった交織物工業、毛織物工業と綿織物工業では、家族の比率は18-29%に上った(麻織物工業もそれに近く、14%であった)。男女別に見ると、経営者において、毛織物工業と交織物工業を除く7業種で、女性は男性よりも多く、特にレース漂白業と組紐製造業では女性が圧倒的であった。労働者の比率では、麻織物工業、交織物工業と靴下製造業で男女ほぼ同率で、毛織物工業で男性がいくらか高く、他の5業種で女性が高かった。家族の比率は、レース漂白業のみでほぼ同率であった(ただし、極めて低い)が、他の8業種では女性が男性よりも遥かに高かった。

繊維工業家内工業就業者の地理的分布はどうか。82年に家内工業就業者が、家内工業経営者の申告に基づく数値で、1業種当たり4百人以上を持つ県は、第19(10)表が示すように、3県あった⁽¹⁴⁾。同表の繊維工業計は、同表に表示された3県8業種をみの就業者の合計である。表の[%]は、各業種就業者王国計(第19(4)表)に対する各県の比率で、就業者王国計の比率、[100%]は省略した。

82年に、8業種家内工業就業者王国計に占める、L県とB県、特にZ県の比率は、極めて高かった(正確な数値は算出できない)。8業種の中で6業種、毛織物工業、交織物工業、靴下製造業、レース製造業、組紐製造業と靴下仕上業の就業者は3県中Z県に最も多く、麻織物工業の就業者はB県に圧倒的に多く、綿織物工業ではB県の就業者がZ県よりもやや多かった。B県の就業者は織物工業、特に麻織物工業と綿織物工業に集中していたのに対して、Z県の就業者は、麻織物工業を除く7業種に分散していた。L県に就業者が4百人以上の業種は3あったが、その就業者は、他の2県に比べて少数であった(ただし、毛織物

第19 (10) 表 主要家内工業就業者（3県, 1882年）

	Z県		B県		L県		王国計
毛織物工業	7,723	[64%]	449	[4%]	1,038	[9%]	12,031
麻織物工業			11,478	[77%]			14,963
綿織物工業	9,510	[70%]	10,848	[80%]	1,480	[11%]	13,631
交織物工業	10,133	[77%]	1,304	[10%]			13,224
靴下製造業	26,250	[131%]			2,961	[15%]	20,097
レース製造業	5,424	[111%]					4,897
靴下仕上業	4,337	[87%]					5,001
組紐製造業	13,498	[87%]					15,546
繊維工業計	76,875	[73%]	24,079	[23%]	5,479	[5%]	105,381

工業は第2位)。

07年に関する第19(11)表⁽¹⁵⁾によって、県の家内工業就業者が4百人以上である業種、計10業種の数値(家内工業経営者の申告に基づく)を見る。本表のZ県はC県と新Z県の合計で、本表の就業者計から女性を差し引いたものが、男性就業者(非表示)である。経営計の比率と就業者計の比率、〈100%〉は省略した。

L県では、就業者4百人以上の業種は靴下製造業だけであり、本業経営の大部分が単独就業者経営であった。2-3人就業経営は経営計の4%で、4人以上経営は極めて少数であった。就業者を見ると、その7割が女性であった。就業者の9割以上が経営者であり、7割近くが女性であった。労働者の男女合計比率は就業者の4%(男性が多い)で、経営者家族の比率は3%(女性が多い)であった。

Z県には、就業者4百人以上の業種が9あった。経営計、本業経営と単独就業者経営は靴下製造業が最も多く、2-3人就業経営と4人以上経営はレース製造業が最も多かった。9業種の中で靴下製造業、綿花漂白業、レース漂白業と組紐製造業で本業経営の大部分が単独就業者経営であった。しかし、毛織物工業、綿織物工業、交織物工業、刺繍業とレース製造業では2-3人経営の比率が高く、特に交織物工業では単独就業者経営の比率よりも高かった。4人以上経営は極めて少数で、その大部分はレース製造業(その比率は経営計の9%)に属した。就業者は、綿花漂白業(8百人弱)を除く8業種で、2千人以上であり、最大のレース製造業は16千人を超えていた。就業者に占める女性の比率は、レース製造業、綿織物工業と交織物工業で44-57%(その中で交織物工業が最も低かった)であったが、他の6業種では高く、66-98%であった(その中でレース漂白業が最も高かった)。経営者は靴下製造業が最大であった。経営者の比率は、レース製造業(就業者の49%、女性26%)を除く8業種で、就業者の6割以上で、レース漂白業と組紐製造業では95%以上であった。男性経営者は、綿織物工業で女性の約1.5倍、交織物工業で約4倍に上ったが、他の7業種で女性経営者は男性よりも多く、靴下製造業と刺繍業で男性の約2倍で、特に組紐製造業、綿花漂白業とレース漂白業で圧倒的に多かった。労働者はレース製造業が最大であったが、労働者の比率は概して低く、8%以下であった。ただし、経営者の比率が最も低いレース製造業で、労働者の比率は最も高く、経営者49%に対して41%を占め(女性22%)、経営者の比率が第2位に低い刺繍業で、経営者62%に対して25%(女性14%)であった。経営者家族の比率は、経営者比率が比較的低い毛織物工業、綿織物工業と交織物工業で26-31%であったけれども、他の6業種では0-13%であった。この6業種の中で、経営者比率が最も低いレース製造業と、第2位に低い刺繍業は、労働者比率が高かったために、家族比率は比較的に低くなった(10-13%)。

B県では、綿織物工業が経営計、本業経営と単独就業者経営において最大であった。全3業種、麻織物工業(B県のみ)、綿織物工業と交織物工業の本業経営の多くが単独就業者経営であった。2-3人就業経営は綿織物工業が最大であった。同経営は各業種の経営計の12%以上を占め、交織物工業では最も高く、22%に達していた。4人以上経営は極めて少数であった。就業者と経営者は綿織物工業が最大であっ

第19 (11) 表 3 県の主要家内工業 (1907年)

(1) 規模別経営数

		経営計	本業		単独		2 - 3 人		4 人 -	
L県	靴下製造業	1,286	960	〈75%〉	905	〈70%〉	52	〈 4%〉	3	〈0.2%〉
	繊維工業計	2,666	2,140	〈80%〉	1,972	〈74%〉	161	〈 6%〉	7	〈0.3%〉
Z県	毛織物工業	3,033	2,755	〈91%〉	1,678	〈55%〉	1,053	〈 35%〉	24	〈0.8%〉
	綿織物工業	3,864	3,519	〈91%〉	2,335	〈60%〉	1,158	〈 30%〉	26	〈0.7%〉
	交織物工業	2,293	2,237	〈98%〉	1,032	〈45%〉	1,191	〈 52%〉	14	〈0.6%〉
	靴下製造業	14,726	12,102	〈82%〉	10,701	〈72%〉	1,305	〈 9%〉	96	〈0.7%〉
	刺繍業	1,897	1,274	〈67%〉	819	〈43%〉	419	〈 22%〉	52	〈2.7%〉
	レース製造業	9,869	8,123	〈82%〉	4,737	〈48%〉	2,517	〈 26%〉	869	〈8.8%〉
	綿花漂白業	1,030	676	〈66%〉	595	〈58%〉	78	〈 8%〉	3	〈0.3%〉
	レース漂白業	4,106	2,277	〈55%〉	2,258	〈55%〉	19	〈0.1%〉	0	〈-〉
	組紐製造業	8,326	5,817	〈70%〉	5,538	〈66%〉	281	〈 3%〉	4	〈0.1%〉
B県	繊維工業計	50,950	40,024	〈79%〉	30,813	〈60%〉	8,119	〈 16%〉	1,092	〈2.1%〉
	麻織物工業	4,026	3,176	〈79%〉	2,669	〈66%〉	500	〈 12%〉	7	〈0.2%〉
	綿織物工業	4,141	3,610	〈87%〉	2,894	〈70%〉	700	〈 17%〉	16	〈0.4%〉
	交織物工業	548	521	〈95%〉	397	〈72%〉	123	〈 22%〉	1	〈0.2%〉
	繊維工業計	9,799	8,156	〈83%〉	6,760	〈69%〉	1,370	〈 14%〉	26	〈0.3%〉

(2) 就業者

		就業者計		経営者		労働者		経営者家族	
		女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性
L県	靴下製造業	729 [71%]	1,025	267 [26%]	689 [67%]	28 [3%]	8 [1%]	1 [0.1%]	32 [3%]
	繊維工業計	1,572 [67%]	2,330	704 [30%]	1,426 [61%]	44 [2%]	26 [1%]	10 [0.4%]	120 [5%]
Z県	毛織物工業	2,710 [68%]	3,993	1,080 [27%]	1,636 [41%]	63 [2%]	154 [4%]	119 [3%]	939 [23%]
	綿織物工業	2,583 [52%]	4,942	2,055 [42%]	1,447 [29%]	173 [4%]	175 [4%]	131 [3%]	960 [19%]
	交織物工業	1,589 [44%]	3,574	1,789 [50%]	419 [12%]	128 [4%]	127 [4%]	68 [2%]	1,043 [29%]
	靴下製造業	9,635 [69%]	13,999	3,877 [29%]	8,167 [58%]	389 [3%]	454 [3%]	100 [1%]	1,012 [7%]
	刺繍業	1,323 [66%]	2,011	431 [21%]	829 [41%]	223 [11%]	273 [14%]	33 [2%]	221 [11%]
	レース製造業	9,489 [57%]	16,632	3,763 [23%]	4,303 [26%]	3,187 [19%]	3,706 [22%]	193 [1%]	1,500 [9%]
	綿花漂白業	736 [93%]	791	19 [2%]	656 [83%]	4 [1%]	14 [2%]	32 [4%]	66 [8%]
	レース漂白業	2,254 [98%]	2,300	41 [2%]	2,232 [97%]	1 [0.04%]	13 [1%]	4 [0.2%]	9 [0.4%]
	組紐製造業	5,555 [90%]	6,178	538 [10%]	5,267 [85%]	50 [1%]	98 [2%]	35 [1%]	160 [3%]
B県	繊維工業計	35,911 [64%]	55,805	14,858 [27%]	24,913 [47%]	4,308 [8%]	4,968 [9%]	729 [1%]	6,029 [11%]
	麻織物工業	2,100 [57%]	3,675	1,171 [32%]	1,931 [53%]	39 [1%]	49 [1%]	65 [2%]	420 [11%]
	綿織物工業	3,123 [72%]	4,341	1,097 [25%]	2,432 [56%]	54 [1%]	116 [3%]	97 [2%]	575 [13%]
	交織物工業	391 [60%]	649	235 [36%]	271 [42%]	9 [1%]	11 [2%]	14 [2%]	109 [17%]
	繊維工業計	6,688 [70%]	9,598	2,622 [27%]	5,357 [56%]	106 [1%]	192 [2%]	182 [2%]	1,139 [12%]

た。3 業種の就業者の57%以上が女性であった。就業者の78-85%は経営者で、女性が男性よりも多かった（特に綿織物工業では2倍以上）。労働者は極めて少なく（その比率は就業者計の4%以下）、経営者家族の比率は就業者の13-19%を占めていた（この比率は、経営者の比率が最も低い交織物工業で、最も高かった）。

L県の靴下製造業の経営者家族、および、Z県とB県の全業種の労働者と経営者家族、の女性比率は男性よりも高かった（一部は同率）。ただし、L県の靴下製造業の労働者だけは男性比率が高かった。

07年に繊維工業1業種の家内工業就業者が百人以上である郡は、第19 (12) 表のとおりであった⁽¹⁶⁾（各業種の中の郡の配列を就業者計の多い順に変更）。業種は合計12となった。

原表は、25以上の経営を持つ郡を表示しているが、本表は就業者百人以上の郡に絞った。郡独立都市は同名の郡に加えた。表の経営計は家内工業経営計、「本業」は本業経営、「単独」は単独就業者経営を指す。したがって、経営計から「本業」を差し引いた数値が、副業的家内工業のそれ（非表示）となる。〈%〉は、家内工業経営計に占める、「本業」と、「単独」などの比率である。（%）は、就業者計に占める、経営者、労働者と経営者家族の比率である。なお、本表の綿織物工業、靴下製造業、刺繍業とレース製造業のChe

郡はChe郡とC市の合計の数値であり、靴下製造業とレース製造業のDre郡はD市のみの数値である。3大都市で就業者が百人以上の業種はC市の綿織物工業と靴下製造業、および、D市の靴下製造業とレース製造業のみであったが、それらの就業者は5百人以下であったので、以下では3大都市としては検討しない。

毛織物工業6郡の中でGla郡の経営と就業者が飛び抜けて最大であった。5郡で経営計の8割以上が本業経営であった（Zwi郡のみ74%）。単独就業者経営は4郡で本業経営の多くを占めていたが、Gla郡とOel郡では経営計の5割以下であった。2－3人経営は4郡で経営計の22%以下であったけれども、Gla郡とOel郡では50－57%に上っていた。4人以上経営の比率は極めて低く、就業者計最小のOel郡でのみ、経営計の5%であった。就業者計に占める女性の比率は、Gla郡で5割を超え、Oel郡も5割に近かったが、他の4郡では4割以下であった。経営者はGla郡とOel郡で就業者計の5－6割で、他の4郡で8割以上を占めていた。女性経営者の比率は5郡で男性のほぼ5割で、Aue郡のみ最も低く、1割以下であった。労働者の比率はOel郡のみ就業者の2割に近く、他の5郡では1－6%であった。経営者家族の比率は、4郡で就業者の8－15%であった。家族比率は、経営者比率が最も低く、労働者比率が最も高いOel郡は、28%で、経営者比率が第2位に低く、労働者比率はOel郡よりも遥かに低いGla郡では、33%に上った。

麻織物工業5郡のうち、経営計はBau郡が、本業経営、単独就業者経営と就業者はLöb郡が最大であり、経営と就業者の2－4位もB県にあった。残るZwi郡の就業者は遥かに少なかった。5郡の経営の大部分は本業経営であった。本業経営の多くは単独就業者経営で、2－3人経営の比率はZit郡で最も低く（経営計の4%）、Kam郡で最も高かった（23%）。4人以上経営の比率は0－1%であった。就業者中の女性の比率はZwi郡で最も低く（33%）、他の3郡で5割以上（53－77%）であった。経営者はKam郡でのみ低く、就業者計の74%で、他の4郡ではほぼ85%以上であった。男性経営者の比率はZwi郡とBau郡で女性よりも高く（特にZwi郡では2倍以上）、他の3郡で低かった（特に女性比率はLöb郡で就業者計の5割を、Zit郡では7割を超えていた）。労働者の比率は就業者の1－5%であった。経営者家族の比率は、4郡で4－15%であったが、経営者比率が最も低いKam郡では、20%を占めていた。

綿織物工業の経営と就業者はGla郡が最大であった。綿織物工業の11郡のうち、Zwi郡（74%）を除く10郡では、経営計の大部分が本業経営であり、単独就業者経営の比率は9郡で本業経営の6－9割に上ったが、Gla郡とKam郡では約55%であった。2－3人経営は9郡で経営計の2割以下であったけれども、Gla郡とKam郡では32－38%であった。4人以上経営の比率は極めて低く、経営計の0－1%であった。就業者計中の女性の比率はOel郡とAue郡で極めて低く、約25%で、反対に、Kam、LöbとZitの3郡では7割を超えていた。経営者は、Gla郡とKam郡のみ就業者計の7割に達しなかったが、他の9郡では8割以上であった。女性経営者は、Gla、Oel、Flö、Roc、ZwiとAueの6郡で男性よりも少なく（特に男性比率はOel郡で女性の4倍、Aue郡で15倍）、Kam、Löb、ZitとCheの4郡で多く（特にLöb郡で男性の2倍以上）、Bau郡ではほぼ同数であった。労働者は就業者の1－8%であった。経営者家族は、9郡で就業者の2－16%を占めていたけれども、経営者の比率が比較的低いGla郡とKam郡では、約25%に達していた。

交織物工業の経営と就業者はGla郡が突出して最大であった。8郡の中で、本業経営は経営計の大部分を占めていた。単独就業者経営が経営計に占める比率は、郡によって大きく異なり、Zit郡では89%に達していたが、Mar郡は特に低く、僅か14%に過ぎなかった。2－3人経営の比率はZit郡で経営計の5%であったけれども、Aue郡とBau郡で約35%、Gla郡とZwi郡で約55%で、Mar郡は特に高く、84%に上っていた。4人以上経営は極めて少なく、経営計の0－1%であった。就業者計中の女性の比率はLöb、MarとZitの3郡で男性よりも高く、他の5郡で男性よりも低かった。就業者中の経営者の比率は、Mar郡で52%であったが、Zit郡では92%を占めていた。女性経営者の比率はZit郡でのみ男性よりも高く（男性の2.5倍）、他の7郡では男性よりも低かった（特にZwi郡とMar郡で男性は女性の7倍、Aue郡で16倍）。労働者の比

率はMar郡のみ13%で、他の7郡では2-8%であった。経営者家族の比率は、労働者比率が低いけれども、経営者比率が高いZit郡で、就業者の僅か5%であったが、経営者比率が最も低いMar郡では、労働者比率がやや高かったので、家族比率は36%に上った。経営者比率が次に低いZwi郡では、労働者比率も低かったので、家族比率は最も高く、37%に達した。経営者比率も労働者比率も低いGla郡では、家族比率は32%であった。労働者比率が低いZit郡は、経営者比率が最も高かったために、家族比率は僅か5%であった。その他の4郡では、家族比率は20-28%であった。

靴下製造業の経営と就業者が最も多い郡は、Che郡であった。10郡の中で、経営計に占める本業経営の比率は、Schw郡とMar郡（6割台）を除く8郡で、7割以上であった。本業経営の大部分は、Zwi郡とSchw郡（経営計の6割台）を除く8郡で、単独就業者経営であった。2-3人経営の比率はZwi郡で最も高く（単独就業者経営の5割以上）、次がSchw郡であった（同4割）けれども、他の8郡では低かった（就業者計の12%以下）。4人以上経営は経営計の0-2%であった。就業者計に占める女性の比率は、Zwi郡で4割余りで、多くの郡で6割以上であった。Zwi郡とSchw郡で就業者の約67%が経営者であったけれども、他の8郡では75%以上がそうであった。女性経営者は、Zwi郡で男性よりも少なかった（約5割）が、他の9郡では多かった（特にFre郡で男性の8倍、Dre郡では43倍）。労働者の比率は、Schw郡13%、Mar郡とFre郡14%、Zwi郡17%で、他の6郡は3-9%であった。労働者女性の比率は、労働者比率が最も高いZwi郡で8%、同じく第4位のSchw郡で5%で、男性よりも低く、労働者比率が第2位のMar郡で11%、同じく第2位のFre郡で13%で、男性よりも高かった。経営者家族の比率は、経営者比率の低いSchw郡とZwi郡で、16-20%で、他の8郡では1-11%であった。

4郡の刺繍業ではSchw郡の本業経営と就業者が最大であった。経営計に占める本業経営の比率は、Gla郡とSchw郡で9割以上であり、Che郡では僅か4割であった。3郡では本業経営の大部分は単独就業者経営であったが、Schw郡のみは経営計（これは全て本業経営であった）の1割に過ぎなかった。2-3人経営の比率は3郡で経営計の2-8%であったけれども、Schw郡のみは78%に達していた。4人以上経営の比率は3郡で経営計の0-2%で、Schw郡のみは11%であった。したがって、Schw郡のみは複数就業者経営の合計比率が単独就業者経営のその9倍に達していた。就業者中の女性の比率は3郡で9割以上であったが、Schw郡のみは4割に過ぎなかった。就業者中の経営者の比率は2郡で就業者計の9割、Fre郡は8割で、Schw郡は最も低く、4割であった。女性経営者は3郡で男性よりも圧倒的に多かった（Che郡とGla郡で就業者計の9割）のに対して、Schw郡のみは極めて少数であった（男性が女性の40倍）。労働者の比率は2郡で就業者の1%であったが、Fre郡で2割を占めていた。特に、Schw郡では労働者の比率が4割を超えており、経営者計の比率よりも僅かに高かった。経営者家族の比率は、労働者比率が最も高く、経営者比率が最も低いSchw郡で、就業者の18%を占めた。Fre郡は、経営者比率は低いが、労働者比率が高かったために、家族比率は2%に過ぎなかった。家族比率は他の2郡では5-8%であった。

レース製造業9郡ではAue郡の経営と就業者が最大であった。経営計に占める、本業経営の比率は最高はAue郡の97%で、最低はChe郡の65%であった。経営計中の単独就業者経営の比率は最高がAnn郡の87%で、最低はAue郡の17%（特に低い）であった。2-3人経営は4郡で就業者計の2%以下であり、Pla郡は32%で、Aue郡は最も高く、54%であった。4人以上経営の比率は7郡は0-2%で、Pla郡で9%、最高はAue郡の26%であった。したがって、複数就業者経営の合計比率はPla郡で単独就業者経営の2倍に近く、Aue郡で4倍に達していた⁽¹⁷⁾。就業者計に占める、女性の比率は、4郡が9割以上で、最低はAue郡の4割であった。経営者は4郡で就業者の9割以上であったが、Aue郡では3割以下、Pla郡でも5割以下であった。女性経営者は7郡で男性よりも多く（Oel, Ann, Mar, CheとDreの5郡では圧倒的に多く）、2郡では男性が女性よりも多かった（特にAue郡では男性が圧倒的に多かった）。労働者の比率は7郡で

0-20%であったが、Pla郡で4割以上で、Aue郡では6割に達していた。経営者家族の比率は、1-13%であった。経営者の比率が最も低く、労働者の比率が最も高いAue郡と、経営者の比率が次に低く、労働者の比率が次に高いPla郡でも、家族の比率は他の7郡とほぼ同じ比率、11%であった。

羊毛染色業では1郡のみが、1百人を僅かに超える就業者を持っていた。経営計のほぼ全てが本業経営であり、単独就業者経営であった。就業者と経営者のほぼ全ては女性であった。労働者はおらず、経営者家族の比率は就業者の1%に過ぎなかった。

麻織物染色業では1郡のみで就業者が1百人を僅かに超えていた。本業経営は経営計の7割に近く、本業経営の全てが単独就業者経営であった。就業者と経営者のほとんど全てが女性であった。労働者と経営者家族の比率はゼロであった。

綿花漂白・染色業では2郡の就業者が1-4百人であった。経営と就業者が多いGla郡では、経営計の多くが本業経営であり、本業経営の多くが単独就業者経営で、2-3人経営が経営計の16%を占めたのに対して、Aue郡では、経営計に占める、本業経営の比率が4割余りで、本業経営の大部分が単独就業者経営であった。Aue郡の2-3人経営と両郡の4人以上経営の比率は低かった。両郡で女性就業者は就業者の9割を超え、女性経営者は就業者の約8割を占めた。労働者の比率は2-5%であった。経営者家族の比率は、経営者比率が比較的に低いGla郡で、高く、2割に近かったのに対して、経営者比率が比較的に高いAue郡は、1割であった。

レース漂白業ではPla郡の経営と就業者が突出して最大であった。3郡の経営計の50-75%が専業経営であり、その大部分が単独就業者経営であった。2-3人経営は経営計の0-2%に過ぎず、4人以上経営は存在しなかった。就業者中の比率は女性が圧倒的に高く、96%以上であった。また、就業者の96%以上が経営者で、その中では女性が圧倒的に高く、92%以上であった。労働者の比率は就業者の0-3%で、経営者家族の比率は0-2%であった。

組紐製造業ではAnn郡の経営と就業者が飛び抜けて最大であった。4郡で経営計の55-75%が本業経営であった。その大部分は単独就業者経営であり、2-3人就業経営の比率は経営計の1-4%で、4人以上経営の比率はほぼゼロであった。就業者と経営者の大部分が女性であった（Ann郡で女性は男性の7倍、他の郡では女性が圧倒的）。労働者の比率は就業者計の0-3%であり、経営者家族の比率は1-5%であった。

以上から、12業種の経営計の大部分が本業経営であった。本業経営が経営計の7割以下の業種と郡は靴下製造業のMar郡とSchw郡、刺繍業とレース製造業のChe郡、麻織物染色業のLöb郡、レース染色業のPla郡とAue郡、および、組紐製造業のSchw郡、Mar郡とAue郡のみであった。本業経営の大部分は単独就業者経営であった。2-3人経営が単独就業者経営よりも多いのは、Gla郡の毛織物工業（1.1倍）と交織物工業（1.2倍）、Mar郡の交織物工業（5.8倍）、Oel郡の毛織物工業（1.6倍）、Schw郡の刺繍業（7.5倍）およびZwi郡の交織物工業（1.6倍）のみであった。2-3人経営が単独就業者経営の5割以上に達していたのは、Gla郡とKam郡の綿織物工業、Bau郡とLöb郡の交織物工業、Zwi郡の靴下製造業およびPla郡のレース製造業のみであった。4人以上経営は大部分の郡と業種で経営計の0-1%であり、例外的にAue郡のレース製造業が経営計の26%、Schw郡の刺繍業が同11%、Pla郡のレース製造業が同9%であった（同比率が経営計の2-5%を示す郡の業種就業者は少数であった）。複数就業者経営合計（2人以上）が経営計①と本業経営②に占める比率は、(1) Schw郡の刺繍業①89%、②90%、Mar郡の交織物工業①85%、②86%、Aue郡のレース製造業①80%、②82%、Oel郡の毛織物工業①62%、②64%、Zwi郡の交織物工業①59%、②62%、Gla郡の交織物工業①54%、②55%、Gla郡の毛織物工業①51%、②54%、(2) Gla郡の綿織物工業①39%、②43%、Bau郡の交織物工業①38%、②39%、Kam郡の綿織物工業①33%、②37%、Löb郡の

交織物工業①33%, ②35%, Pla郡のレース製造業①41%, ②52%, Aue郡の交織物工業①30%, ②30%, Flö郡の交織物工業①26%, ②27%, Zwi郡の靴下製造業①26%, ②37%, Zwi郡のレース製造業①25%, ②34%, であった。以上のうち(1)は、複数就業者経営の①と②がいずれも過半を占める業種と郡であり、(2)は、①25-41%, ②27-52%の業種と郡であった。(1)と(2)を合わせて、業種別に整理すると、毛織物工業(表示6郡)がOelとGlaの2郡、綿織物工業(表示11郡)がGlaとKamの2郡、交織物工業(表示8郡)がAue, Flö, Gla, Mar, Zwi, BauとLöbの7郡、靴下製造業(表示10郡)がZwi郡、刺繍業(表示4郡)がSchw郡、そして、レース製造業(表示9郡)がAue, PlaとZwiの3郡、であった。したがって、複数就業者経営が多いのは、交織物工業であった。これら6業種の上記16郡以外の諸郡とその他の6業種の全郡(3業種では1郡のみ)には、複数就業者経営の比率が高い郡はなかった。

就業者中の経営者、労働者と経営者家族の構成を見ると、経営者の比率は、大部分の郡で就業者の65%以上であり、98-100%を示す郡も、7郡あった(業種省略)。例外は毛織物工業のOel郡52%, 交織物工業のMar郡52%, 刺繍業のSchw郡40%, および、レース製造業のAue郡29%とPla郡46%, 以上4業種5郡のみであった。経営者の男女別比率は、均等ではなかった。概略で、毛織物工業は男性経営者の比率が高く、麻織物工業、靴下製造業(例外はZwi郡)、刺繍業(例外はSchw郡)、羊毛染色業、麻織物染色業、綿花漂白・染色業、レース漂白業と組紐製造業は女性の比率が高かった(羊毛染色業以下の5業種では圧倒的)。綿織物工業、交織物工業とレース製造業には、男性の比率が高い郡と、女性が高い郡があった。就業者中の労働者比率は概して低かった。それが経営者の比率を上回るのは、Schw郡の刺繍業(労働者比率43% [うち女性23%], 経営者比率の1.1倍)とAue郡のレース製造業(労働者比率60% [女性29%], 経営者比率の2.0倍)のみであった。この2業種2郡以外に、労働者比率が就業者の10%を上回るのは、毛織物工業のOel郡(19%, うち女性10%), 交織物工業のMar郡(13%, 女性10%), 靴下製造業のZwi郡(17%, 女性8%), Mar郡(14%, 女性11%), Fre郡(14%, 女性13%)とSchw郡(13%, 女性5%), 刺繍業のFre郡(20%, 女性15%), および、レース製造業のPla郡(43%, 女性29%), Oel郡(19%, 女性12%), Zwi郡(19%, 女性15%)とSchw郡(13%, 女性7%), であった。したがって、労働者比率が高い郡は、レース製造業に多かった。また、以上の13郡では、女性労働者比率が高い郡が多かった(全部ではない)。その他の郡では男性労働者の比率は女性とほぼ同じか、低く、男性労働者がゼロである郡も、10郡あった。就業者中の経営者家族の比率が10%以上の郡は極めて多かった。特に、同比率が20%以上の郡として、毛織物工業のGla郡33%とOel郡28%, 麻織物工業のKam郡20%, 交織物工業の7郡20-37% (Zit郡を除く), および、靴下製造業のSchw郡20%があり、そのような郡は交織物工業に多かった。家族女性の比率は、刺繍業Fre郡(同率)を除く、全ての郡で男性よりも高く、多くの郡で遥かに高かった。

以上の家内工業主要業種就業者を郡別に区分してみる⁽¹⁸⁾。()は各業種の就業者計、〈 〉は、表示された、業種の数と就業者計である。

百人以上の就業者を示したのは、D県で6中2郡とL県で6中3郡、計5郡だけであり、しかも、5郡の業種はDöb郡とOsc郡で1、その他の3郡で2であった。また、就業者計はRoc郡が1千余りで、他は3百以下であった。それに対して、Z県とB県では全郡に百人以上の家内工業就業者がいた。しかも、業種は、B県でKam郡2業種、Löb郡4業種、他の2郡3業種であり、各郡の就業者計は1,500以上、最大はLöb郡の3千弱であった。Z県では4郡3業種、Che郡とMar郡4業種、Schw郡5業種、Gla郡とZwi郡6業種、Aue郡7業種であり、各郡の就業者計は、Flö郡の1千弱を除いて、1,500以上で、5郡は5千以上、最大のGla郡は12千余りであった。また、1郡1業種2千以上はZ県にのみあった。すなわち、Ann郡の組紐製造業、Aue郡、Pla郡とSchw郡のレース製造業、Che郡とGla郡の靴下製造業、および、Gla郡の毛織物工業、綿織物工業と交織物工業であり、最大はAue郡のレース製造業(8千)であった。

第19 (12) 表 家内工業における主要な郡 (1907年)

郡	経営計	本業	単独	2－3人	4人－	就業者計		経営者		労働者		家族	
						女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性
毛織物工業													
Gla	1,560	1,503 (96%)	698 (45%)	786 (50%)	19 (1%)	1,263 (53%)	2,448	986 (40%)	492 (20%)	92 (4%)	57 (2%)	107 (4%)	714 (29%)
Aue	388	369 (93%)	282 (71%)	87 (22%)	0 (-)	109 (24%)	451	334 (74%)	29 (6%)	5 (1%)	4 (1%)	3 (1%)	76 (17%)
Zwi	463	344 (74%)	280 (60%)	64 (14%)	0 (-)	165 (40%)	412	236 (57%)	106 (26%)	6 (1%)	3 (1%)	5 (1%)	56 (14%)
Pla	334	273 (82%)	241 (72%)	32 (10%)	0 (-)	124 (40%)	308	178 (58%)	95 (31%)	5 (2%)	4 (1%)	1 (0.3%)	25 (8%)
Dob	256	241 (94%)	214 (84%)	27 (11%)	0 (-)	100 (37%)	268	164 (61%)	77 (29%)	2 (1%)	0 (-)	2 (1%)	23 (9%)
Oel	101	99 (98%)	36 (36%)	58 (57%)	3 (5%)	86 (48%)	181	74 (41%)	20 (11%)	17 (9%)	19 (10%)	4 (2%)	47 (26%)
麻織物工業													
Lob	1,250	1,032 (83%)	854 (68%)	177 (14%)	1 (0.1%)	816 (68%)	1,199	353 (30%)	654 (55%)	6 (1%)	6 (1%)	23 (2%)	156 (13%)
Bau	1,303	918 (70%)	763 (59%)	155 (12%)	0 (-)	556 (53%)	1,057	468 (44%)	420 (40%)	24 (2%)	9 (1%)	9 (1%)	127 (12%)
Zit	891	708 (79%)	674 (76%)	33 (4%)	1 (0.1%)	573 (77%)	746	168 (23%)	538 (72%)	2 (0.3%)	9 (1%)	3 (0.4%)	26 (3%)
Kam	582	518 (89%)	378 (65%)	135 (23%)	5 (1%)	455 (68%)	673	181 (27%)	319 (47%)	7 (1%)	25 (4%)	30 (4%)	111 (16%)
Zwi	140	100 (71%)	84 (60%)	16 (11%)	0 (-)	39 (33%)	117	72 (62%)	27 (23%)	2 (2%)	0 (-)	4 (3%)	12 (10%)
綿織物工業													
Gla	2,570	2,367 (92%)	1,359 (53%)	988 (38%)	20 (1%)	2,035 (57%)	3,598	1,283 (36%)	1,076 (30%)	159 (4%)	142 (4%)	121 (3%)	817 (23%)
Kam	1,462	1,298 (89%)	815 (56%)	468 (32%)	15 (1%)	1,350 (73%)	1,838	372 (20%)	876 (48%)	39 (2%)	91 (5%)	77 (4%)	383 (21%)
Lob	1,402	1,179 (84%)	1,038 (74%)	140 (10%)	1 (0.1%)	955 (73%)	1,310	336 (26%)	819 (63%)	8 (1%)	12 (1%)	11 (1%)	124 (9%)
Zit	944	841 (89%)	801 (85%)	40 (4%)	0 (-)	631 (72%)	879	242 (28%)	595 (68%)	1 (0.1%)	6 (1%)	5 (1%)	30 (3%)
Oel	383	358 (93%)	339 (89%)	18 (5%)	1 (0.3%)	92 (24%)	384	286 (74%)	71 (18%)	6 (2%)	6 (2%)	0 (-)	8 (2%)
Bau	336	292 (87%)	240 (71%)	52 (15%)	0 (-)	187 (54%)	344	147 (43%)	142 (41%)	6 (2%)	7 (2%)	4 (1%)	38 (11%)
Flo	260	242 (93%)	200 (77%)	41 (16%)	1 (0.4%)	141 (49%)	285	139 (49%)	103 (36%)	3 (1%)	2 (1%)	2 (1%)	36 (13%)
Che	242	217 (90%)	174 (72%)	42 (17%)	1 (0.4%)	156 (60%)	259	95 (37%)	120 (46%)	4 (2%)	1 (0.4%)	4 (2%)	35 (14%)
Roc	195	187 (96%)	149 (76%)	38 (19%)	0 (-)	95 (42%)	224	122 (54%)	61 (27%)	3 (1%)	5 (2%)	4 (2%)	29 (13%)
Zwi	187	139 (74%)	116 (62%)	22 (12%)	1 (1%)	69 (42%)	164	93 (57%)	45 (27%)	1 (1%)	4 (2%)	1 (1%)	20 (12%)
Aue	117	102 (87%)	81 (69%)	20 (17%)	1 (1%)	32 (25%)	126	94 (75%)	6 (5%)	0 (-)	6 (5%)	0 (-)	20 (16%)
交織物工業													
Gla	1,472	1,440 (98%)	646 (44%)	786 (53%)	8 (1%)	1,067 (46%)	2,330	1,112 (48%)	312 (13%)	105 (5%)	66 (3%)	46 (2%)	689 (30%)
Zwi	330	320 (97%)	123 (37%)	193 (58%)	4 (1%)	243 (45%)	536	270 (50%)	39 (7%)	7 (1%)	21 (4%)	15 (3%)	183 (34%)
Lob	237	224 (95%)	145 (61%)	79 (33%)	0 (-)	183 (59%)	308	114 (37%)	102 (33%)	3 (1%)	8 (3%)	8 (3%)	73 (24%)
Mar	159	159 (100%)	23 (14%)	134 (84%)	2 (1%)	152 (50%)	307	140 (46%)	17 (6%)	10 (3%)	32 (10%)	5 (2%)	103 (34%)
Zit	219	207 (95%)	195 (89%)	11 (5%)	1 (1%)	157 (70%)	223	58 (26%)	147 (66%)	4 (2%)	3 (1%)	4 (2%)	7 (3%)
Flo	129	127 (98%)	93 (72%)	34 (26%)	0 (-)	61 (38%)	162	100 (62%)	27 (17%)	1 (1%)	1 (1%)	0 (-)	33 (20%)
Aue	88	87 (99%)	61 (69%)	26 (30%)	0 (-)	30 (26%)	114	82 (72%)	5 (4%)	1 (1%)	1 (1%)	1 (1%)	24 (21%)
Bau	88	85 (96%)	52 (59%)	33 (38%)	0 (-)	46 (41%)	113	63 (56%)	17 (15%)	2 (2%)	0 (-)	2 (2%)	29 (26%)
靴下製造業													
Che	8,083	6,196 (77%)	5,531 (68%)	609 (8%)	56 (1%)	4,691 (66%)	7,091	2,162 (30%)	4,016 (57%)	195 (3%)	205 (3%)	43 (1%)	470 (7%)
Gla	3,130	3,041 (97%)	2,715 (87%)	306 (10%)	20 (1%)	2,337 (67%)	3,489	1,027 (29%)	2,007 (58%)	97 (3%)	88 (3%)	28 (1%)	242 (7%)
Ann	1,673	1,602 (96%)	1,389 (83%)	207 (2%)	6 (0.4%)	1,507 (81%)	1,868	310 (17%)	1,276 (68%)	36 (2%)	58 (5%)	15 (1%)	173 (9%)
Roc	1,067	777 (73%)	723 (68%)	51 (5%)	3 (0.3%)	552 (66%)	841	261 (31%)	512 (61%)	27 (3%)	8 (1%)	1 (0.1%)	32 (4%)
Flo	715	520 (73%)	502 (70%)	17 (2%)	1 (0.1%)	443 (82%)	543	93 (17%)	425 (78%)	6 (1%)	10 (1%)	1 (0.2%)	8 (1%)
Mar	608	413 (68%)	337 (55%)	68 (11%)	8 (1%)	427 (79%)	543	92 (17%)	315 (58%)	19 (3%)	59 (11%)	5 (1%)	53 (10%)
Zwi	212	152 (72%)	96 (45%)	56 (26%)	0 (-)	94 (42%)	224	105 (47%)	45 (20%)	20 (9%)	18 (8%)	5 (2%)	31 (14%)
Schw	192	115 (60%)	79 (41%)	32 (17%)	4 (2%)	93 (57%)	162	53 (33%)	56 (35%)	13 (8%)	8 (5%)	3 (2%)	29 (18%)
Dre	112	94 (84%)	85 (76%)	8 (7%)	1 (1%)	104 (98%)	106	2 (2%)	91 (86%)	0 (-)	10 (9%)	0 (-)	3 (3%)
Fre	105	87 (83%)	80 (76%)	5 (5%)	2 (2%)	94 (90%)	104	9 (9%)	77 (74%)	1 (1%)	14 (13%)	0 (-)	3 (3%)
刺繍業													
Schw	413	413 (100%)	43 (10%)	323 (78%)	47 (11%)	416 (41%)	1,024	395 (39%)	12 (1%)	205 (20%)	232 (23%)	8 (1%)	172 (17%)
Che	794	336 (42%)	319 (40%)	17 (2%)	0 (-)	342 (96%)	357	9 (3%)	326 (91%)	0 (-)	4 (1%)	6 (2%)	11 (3%)
Gla	344	324 (94%)	298 (87%)	26 (8%)	0 (-)	243 (97%)	355	2 (1%)	321 (90%)	0 (-)	4 (1%)	10 (3%)	18 (5%)
Fre	182	134 (74%)	115 (63%)	15 (8%)	4 (2%)	161 (94%)	171	0 (-)	133 (78%)	8 (5%)	25 (15%)	2 (1%)	2 (1%)
レース製造業													
Aue	2,451	2,378 (97%)	422 (17%)	1,329 (54%)	627 (26%)	3,388 (42%)	8,090	2,115 (26%)	234 (3%)	2,480 (31%)	2,309 (29%)	107 (1%)	845 (10%)
Pla	2,032	1,616 (79%)	765 (38%)	638 (32%)	182 (9%)	1,969 (57%)	3,434	947 (28%)	633 (18%)	469 (14%)	1,002 (29%)	49 (1%)	334 (10%)
Schw	2,300	1,720 (75%)	1,378 (60%)	314 (14%)	28 (1%)	1,672 (75%)	2,217	389 (18%)	1,317 (59%)	138 (6%)	162 (7%)	18 (1%)	193 (9%)
Oel	998	792 (79%)	712 (71%)	61 (6%)	19 (2%)	867 (84%)	1,037	90 (9%)	699 (67%)	75 (7%)	122 (12%)	5 (1%)	46 (4%)
Ann	817	709 (87%)	705 (86%)	3 (0.4%)	0 (-)	683 (96%)	713	29 (4%)	680 (95%)	0 (-)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	2 (0.3%)
Zwi	638	459 (72%)	302 (47%)	147 (23%)	10 (2%)	454 (69%)	662	172 (26%)	281 (42%)	25 (4%)	101 (15%)	11 (2%)	72 (11%)
Mar	326	258 (79%)	256 (79%)	1 (0.3%)	1 (0.3%)	252 (96%)	263	9 (3%)	249 (95%)	0 (-)	0 (-)	2 (1%)	3 (1%)
Che	269	176 (65%)	170 (63%)	4 (1%)	2 (1%)	180 (95%)	190	10 (5%)	166 (87%)	0 (-)	9 (5%)	0 (-)	5 (3%)
Dre	166	131 (79%)	128 (77%)	3 (2%)	0 (-)	133 (99%)	135	2 (1%)	129 (96%)	0 (-)	3 (2%)	0 (-)	1 (1%)

羊毛染色業

Osc	116	116	(100%)	115	(99%)	1	(1%)	0	(-)	117	(100%)	117	0	(-)	116	(99%)	0	(-)	0	(-)	0	(-)	0	(-)
-----	-----	-----	--------	-----	-------	---	------	---	-----	-----	--------	-----	---	-----	-----	-------	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----

麻織物染色業

Löb	163	110	(67%)	110	(67%)	0	(-)	0	(-)	107	(97%)	110	3	(3%)	107	(97%)	0	(-)	0	(-)	0	(-)	0	(-)
-----	-----	-----	-------	-----	-------	---	-----	---	-----	-----	-------	-----	---	------	-----	-------	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----

綿花漂白・染色業

Gla	418	367	(88%)	305	(73%)	61	(16%)	1	(0.2%)	419	(92%)	455	5	(1%)	361	(79%)	1	(0.2%)	8	(2%)	30	(7%)	50	(11%)
-----	-----	-----	-------	-----	-------	----	-------	---	--------	-----	-------	-----	---	------	-----	-------	---	--------	---	------	----	------	----	-------

Auc	286	128	(45%)	115	(40%)	11	(4%)	2	(1%)	141	(94%)	150	7	(5%)	121	(81%)	1	(1%)	6	(4%)	1	(1%)	14	(9%)
-----	-----	-----	-------	-----	-------	----	------	---	------	-----	-------	-----	---	------	-----	-------	---	------	---	------	---	------	----	------

レース漂白業

Pla	2,914	1,520	(52%)	1,520	(52%)	0	(-)	0	(-)	1,496	(98%)	1,520	24	(2%)	1,496	(98%)	0	(-)	0	(-)	0	(-)	0	(-)
-----	-------	-------	-------	-------	-------	---	-----	---	-----	-------	-------	-------	----	------	-------	-------	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----

Auc	599	370	(62%)	358	(60%)	12	(2%)	0	(-)	368	(96%)	385	15	(4%)	354	(92%)	0	(-)	11	(3%)	2	(1%)	3	(1%)
-----	-----	-----	-------	-----	-------	----	------	---	-----	-----	-------	-----	----	------	-----	-------	---	-----	----	------	---	------	---	------

Schw	411	307	(75%)	301	(73%)	6	(1%)	0	(-)	309	(99%)	313	2	(1%)	303	(97%)	1	(0.3%)	2	(1%)	1	(0.3%)	4	(1%)
------	-----	-----	-------	-----	-------	---	------	---	-----	-----	-------	-----	---	------	-----	-------	---	--------	---	------	---	--------	---	------

組紐製造業

Ann	5,884	4,347	(74%)	4,108	(70%)	236	(4%)	3	(0.1%)	4,072	(87%)	4,663	514	(11%)	3,825	(82%)	49	(1%)	79	(2%)	28	(1%)	168	(4%)
-----	-------	-------	-------	-------	-------	-----	------	---	--------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	-------	----	------	----	------	----	------	-----	------

Schw	1,050	578	(55%)	570	(54%)	8	(1%)	0	(-)	584	(99%)	588	4	(1%)	574	(98%)	0	(-)	4	(1%)	0	(-)	6	(1%)
------	-------	-----	-------	-----	-------	---	------	---	-----	-----	-------	-----	---	------	-----	-------	---	-----	---	------	---	-----	---	------

Mar	833	562	(67%)	543	(65%)	19	(2%)	0	(-)	567	(97%)	584	13	(2%)	548	(94%)	1	(0.2%)	12	(2%)	3	(1%)	7	(1%)
-----	-----	-----	-------	-----	-------	----	------	---	-----	-----	-------	-----	----	------	-----	-------	---	--------	----	------	---	------	---	------

Auc	197	123	(62%)	122	(62%)	1	(1%)	0	(-)	124	(100%)	124	0	(-)	123	(99%)	0	(-)	0	(-)	0	(-)	1	(1%)
-----	-----	-----	-------	-----	-------	---	------	---	-----	-----	--------	-----	---	-----	-----	-------	---	-----	---	-----	---	-----	---	------

D県 Dre郡：靴下製造業（106）；レース製造業（135）〈2業種，241〉。

Fre郡：靴下製造業（104）；刺繍業（171）〈2業種，275〉。

L県 Döb郡：毛織物工業（268）〈1業種，268〉。

Osc郡：羊毛染色業（117）〈1業種，117〉。

Roc郡：綿織物工業（224）；靴下製造業（841）〈2業種，1,065〉。

Z県 Ann郡：靴下製造業（1,868）；レース製造業（713）；組紐製造業（4,663）〈3業種，7,244〉。

Auc郡：毛織物工業（451）；綿織物工業（126）；交織物工業（114）；レース製造業（8,090）；綿花漂白・染色業（150）；レース漂白業（385）；組紐製造業（124）〈7業種，9,440〉。

Che郡：綿織物工業（259）；靴下製造業（7,091）；刺繍業（357）；レース製造業（190）〈4業種，7,897〉。

Flö郡：綿織物工業（285）；交織物工業（162）；靴下製造業（543）〈3業種，990〉。

Gla郡：毛織物工業（2,448）；綿織物工業（3,598）；交織物工業（2,330）；靴下製造業（3,489）；刺繍業（355）；綿花漂白・染色業（455）〈6業種，12,675〉。

Mar郡：交織物工業（307）；靴下製造業（543）；レース製造業（263）；組紐製造業（584）〈4業種，1,697〉。

Oel郡：毛織物工業（181）；綿織物工業（384）；レース製造業（1,037）〈3業種，1,602〉。

Pla郡：毛織物工業（308）；レース製造業（3,434）；レース漂白業（1,520）〈3業種，5,262〉。

Schw郡：靴下製造業（162）；刺繍業（1,024）；レース製造業（2,217）；レース漂白業（313）；組紐製造業（588）〈5業種，4,304〉。

Zwi郡：毛織物工業（412）；麻織物工業（117）；綿織物工業（164）；交織物工業（536）；靴下製造業（224）；レース製造業（662）〈6業種，2,115〉。

B県 Bau郡：麻織物工業（1,057）；綿織物工業（344）；交織物工業（113）〈3業種，1,514〉。

Kam郡：麻織物工業（673）；綿織物工業（1,838）〈2業種，2,511〉。

Löb郡：麻織物工業（1,199）；綿織物工業（1,310）；交織物工業（308）；麻織物染色業（110）〈4業種，2,927〉。

Zit郡：麻織物工業（746）；綿織物工業（879）；交織物工業（223）〈3業種，1,848〉。

第16節 農村就業者の階層構成（1871年）

71年の農村農業・工業就業者の階層構成に関する第20（1）表⁽¹⁾において、/ /は、県計・郡計に占める農村の比率であり、記号~の前は男性の、後は女性の、比率である。就業者計の比率100は省略した。本

節では、郡農村を単に郡、農村の就業者、農村の農業経営者などを、単に就業者、農業経営者などと記す。

王国農村人口は王国総人口の62%を占めていた。農村の男女農業経営者計は王国のその92-94%を、男女農業労働者計は王国のその95-96%を、占めた。農業2階層は大部分（92-96%）が農村に居住していた。農村の工業経営者は男性で王国の53%を、女性で49%を、工業労働者は男性で王国の55%を、女性で65%を、占めた。したがって、工業2階層男女では、女性工業経営者の比率のみが5割を僅かに下回っていたが、男性工業経営者と男女工業労働者の比率は5割を超えていた。男女別では、王国農村で経営者の大部分が男性であった（女性は農業で男性の7%、工業で12%）。労働者に関する事情は異なっており、女性労働者は、工業で男性の67%を占め、農業では125%に達していた。

4県農村の就業者が県人口計に占める比率は、本領地域3県で57-60%であったが、B県では遥かに高く、83%であった。26郡農村では、郡人口計に占める農村就業者の比率は、D県5郡68-79%、L県5郡58-74%、Z県8郡55-77%、B県4郡80-91%であった（4郡について下記）。B県諸郡における同比率の高さが特徴的であった。ただし、（1）本領地域にも、同比率が71%以上の郡がD県に4、L県に2、Z県に3、計9郡あり、それらの中で最も高い同比率はDip郡の79%で、これはB県の郡の最低の比率80%に近かった。（2）本領地域22郡の中には、同比率が極めて低い郡、すなわち、都市人口比率が極めて高い郡が、4郡あった。D県Dre郡（33%）、Z県Pla郡（41%）、L県Leip郡（46%）とZ県協定所領（50%）、であった。

4県農村の男女の農業経営者・労働者は県農業経営者・労働者の90-97%を占めていた。農村の工業経営者はD県で県工業経営者の45%（男性）と32%（女性）を、L県で39%と60%（前の数値が男性、後が女性）を、Z県で50%と49%を、占めたが、B県の同比率は遥かに高く、83%と77%であった。農村の工業労働者はD県で県工業労働者の52%と46%を、L県で47%と41%を、Z県で54%と65%を占めたが、B県の同比率は極めて高く、80%と92%であった。県女性工業労働者に占める女性農村工業労働者の比率は、この階層が4県で最も多いZ県で、高く、この階層の数が第2位のB県では、さらに高かった。郡農業経営者と農業労働者に占める、農村の比率は85-99%で、例外的に低いZ県Ann郡が75-84%であった。

4県農村の経営者は大部分が男性であった（女性は農業で4県とも男性の1割以下、工業でD県とL県で男性の約2割、B県で1割余り、Z県では僅か6%）。農村の農業労働者の女性比率は全4県で男性よりも構成比の2-3%だけ高かった。農村の工業労働者はB県で男女ほぼ同数であったが、男性はZ県では女性よりも僅かに多く、L県で女性の3.3倍、D県で女性の3.8倍に達していた。

郡工業経営者男性（女性は少数なので、省略）に占める、農村の比率は、郡によって大きく異なっていた。男性農村工業経営者の比率が低く、3割に達しない郡は、Dre、Bor、DöbとPlaの4郡であった。農村工業経営者の比率が高く、5割を超える郡は、D県4郡（DreとPirを除く）、L県2郡（OscとRoc）、Z県6郡（Ann、Gla、Plaと協定所領を除く）、および、B県全4郡、計16郡であった。同比率は、Dip、MarとKamの3郡で60-65%、Fre、CheとBauの3郡で70-74%、Zit郡で85%を占め、Löb郡に至っては92%に達していた。同比率が6割以上の、これら8郡では工業経営者の中で農村工業経営者が圧倒的であった。なお、Dre郡では、男性農村工業経営者の比率が、上記のように、低かったが、女性経営者の比率も、異様に低い9%に過ぎなかった（20%以下の郡は他になかった）。

郡男性工業労働者に占める、農村の比率も、郡によって高低があった。Pla郡の同比率は極めて低く、28%で、その次の37%がDreとBorの2郡であった。同比率はD県の5郡、L県の3郡、Z県の8郡とB県の全4郡、計20郡は5割以上であった。特にD県Fre郡、Z県2郡（AueとMar）、および、B県北部2郡（BauとKam）の5郡は70-78%で、B県南部2郡（LöbとZit）は83-86%に上った。

郡女性工業労働者に占める、農村の比率も、郡によって大きく異なっていた。Pla郡の同比率は、男性と同じく、最も低く、24%で、その次の27-28%はDreとGronの2郡であった。D県の3郡、L県の2郡、

第20 (1) 表 農村農業・工業就業者の階層構成 (1871年)

郡	農業				工業				就業者計
	①経営者		②労働者		③経営者		④労働者		
Dip-71b	(2,061+90)	[0.2%]	(3,092+3,584)	[0.3+0.3%]	(3,130+384)	[0.1%]	(2,910+1,845)	[0.2+0.2%]	(11,971+7,926-19,897)
	[10+0.5%]	/95-85% /	[16+18%]	/97-97% /	[6+2%]	/60-78% /	[15+9%]	/66-62% /	[60+40%] /79% / [1.6%]
Dre-71b	(2,727+236)	[0.2%]	(4,089+4,753)	[0.3+0.4%]	(2,376+344)	[0.2%]	(11,355+2,519)	[0.9+0.2%]	(30,017+13,255-43,272)
	[6+0.5%]	/88-89% /	[9+11%]	/89-97% /	[5+0.8%]	/27-9% /	[26+6%]	/37-28% /	[69+31%] /33% / [3.6%]
Fre-71b	(2,221+176)	[0.2%]	(3,236+4,332)	[0.3+0.4%]	(3,016+405)	[0.3%]	(9,738+3,238)	[0.9+0.3%]	(22,737+12,095-34,832)
	[6+0.5%]	/97-97% /	[9+12%]	/98-98% /	[8+7.1%]	/72-57% /	[28+9.5%]	/72-77% /	[65+35%] /75% / [2.9%]
Gron-71b	(2,762+158)	[0.2%]	(3,465+4,028)	[0.3+0.3%]	(932+252)	[0.1%]	(2,469+163)	[0.2+0.01%]	(13,100+6,792-19,892)
	[14+0.8%]	/96-94% /	[17+20%]	/97-98% /	[5+1%]	/50-63% /	[12+0.8%]	/51-27% /	[66+34%] /72% / [1.7%]
Mei-71b	(2,825+198)	[0.2%]	(5,277+6,218)	[0.4+0.5%]	(1,512+497)	[0.2%]	(4,427+374)	[0.4+0.03%]	(19,294+10,821-30,115)
	[9+0.7%]	/97-94% /	[18+21%]	/98-99% /	[5+2%]	/50-61% /	[15+1%]	/63-61% /	[64+36%] /77% / [2.5%]
Pir-71b	(2,945+247)	[0.3%]	(4,323+5,303)	[0.4+0.4%]	(1,759+392)	[0.2%]	(4,499+1,292)	[0.4+0.1%]	(20,130+10,743-30,873)
	[10+0.8%]	/94-93% /	[14+17%]	/95-97% /	[6+1%]	/41-55% /	[15+4%]	/56-45% /	[65+35%] /68% / [2.5%]
D県-71b	(15,541+1,105)	[1.3+0.1%]	(23,482+28,218)	[1.9+2.3%]	(10,725+2,274)	[0.9+0.2%]	(35,398+9,397)	[2.9+0.8%]	(117,249+61,632-178,881)
	[9+0.6%]	/95-92% /	[13+16%]	/96-98% /	[6+1%]	/45-32% /	[20+5%]	/52-46% /	[66+34%] /57% / [14.7%]
Bor-71b	(2,318+160)	[0.2%]	(3,054+4,509)	[0.3+0.4%]	(942+79)	[0.1%]	(1,754+439)	[0.1+0.04%]	(11,497+7,266-18,763)
	[12+0.9%]	/92-86% /	[16+24%]	/94-95% /	[5+0.4%]	/29-25% /	[9+2%]	/37-39% /	[61+39%] /61% / [1.5%]
Dob-71b	(2,387+140)	[0.2%]	(3,884+5,311)	[0.3+0.4%]	(1,422+198)	[0.1%]	(4,198+1,243)	[0.3+0.1%]	(16,131+9,138-25,269)
	[9+0.6%]	/96-95% /	[15+21%]	/97-98% /	[6+0.8%]	/29-46% /	[17+5%]	/42-31% /	[64+36%] /58% / [3.1%]
Gri-71b	(2,753+173)	[0.2%]	(4,815+5,390)	[0.4+0.4%]	(1,232+218)	[0.1%]	(2,667+443)	[0.2+0.04%]	(15,413+8,649-24,062)
	[11.4+0.7%]	/94-89% /	[20+22%]	/94-95% /	[5+0.9%]	/45-60% /	[11.1+2%]	/50-42% /	[64+36%] /68% / [3.0%]
Leip-71b	(1,640+160)	[0.1%]	(2,731+3,432)	[0.2+0.3%]	(2,240+934)	[0.3%]	(11,238+2,141)	[0.9+0.2%]	(31,056+13,068-44,124)
	[4+0.4%]	/96-91% /	[6+8%]	/93-96% /	[5.1+2%]	/35-80% /	[25+4.9%]	/45-30% /	[70+30%] /46% / [3.6%]
Osc-71b	(1,666+93)	[0.1%]	(3,296+3,556)	[0.3+0.3%]	(998+289)	[0.1%]	(1,854+248)	[0.2+0.02%]	(10,988+7,422-18,410)
	[9+0.5%]	/93-95% /	[18+19%]	/96-96% /	[5+2%]	/51-58% /	[10+1%]	/56-56% /	[60+40%] /74% / [1.5%]
Roc-71b	(2,396+133)	[0.2%]	(3,605+4,379)	[0.3+0.4%]	(3,378+275)	[0.3%]	(4,634+3,400)	[0.4+0.3%]	(17,719+10,017-27,735)
	[9+0.5%]	/96-97% /	[13+16%]	/97-97% /	[12.2+1%]	/50-51% /	[17+12.3%]	/57-64% /	[64+36%] /68% / [2.3%]
L県-71b	(13,160+859)	[1.1+0.1%]	(21,385+26,577)	[1.8+2.3%]	(10,212+1,993)	[0.8+0.2%]	(26,345+7,914)	[2.2+0.6%]	(102,804+55,560-158,364)
	[8+0.5%]	/94-91% /	[14+16.8%]	/95-96% /	[6+1%]	/39-60% /	[16.6+5%]	/47-41% /	[65+35%] /58% / [13.0%]
Ann-71b	(990+47)	[0.1%]	(1,604+1,096)	[0.1+0.1%]	(1,782+74)	[0.2%]	(4,582+8,340)	[0.4+0.6%]	(12,162+10,272-22,434)
	[4+0.2%]	/78-75% /	[7+5%]	/84-84% /	[8+0.3%]	/35-34% /	[20+37%]	/50-65% /	[54+46%] /55% / [1.8%]
Aue-71b	(1,055+89)	[0.1%]	(1,530+1,627)	[0.1+0.1%]	(2,718+301)	[0.2%]	(5,818+7,073)	[0.5+0.6%]	(13,760+10,087-23,847)
	[4+0.3%]	/96-97% /	[6+7%]	/96-95% /	[11+1%]	/55-69% /	[24+30%]	/70-81% /	[58+42%] /74% / [2.0%]
Che-71b	(1,856+92)	[0.2%]	(2,115+2,312)	[0.2+0.2%]	(10,078+603)	[0.9%]	(17,911+13,494)	[1.5+1.1%]	(36,435+19,002-55,437)
	[3+0.2%]	/96-98% /	[3.8+4.2%]	/96-98% /	[18+1%]	/70-63% /	[32+24%]	/56-72% /	[66+34%] /61% / [4.6%]
Flo-71b	(1,232+62)	[0.1%]	(2,008+2,797)	[0.2+0.2%]	(2,420+168)	[0.2%]	(5,160+2,960)	[0.4+0.2%]	(13,575+7,527-21,102)
	[6+0.3%]	/94-94% /	[10+13%]	/98-97% /	[11+0.8%]	/45-61% /	[24+14%]	/61-56% /	[64+36%] /64% / [1.7%]
Mar-71b	(1,032+71)	[0.1%]	(1,672+2,059)	[0.1+0.2%]	(2,169+58)	[0.2%]	(4,792+4,846)	[0.4+0.4%]	(12,092+8,654-20,746)
	[5+0.3%]	/89-79% /	[8+9.9%]	/88-90% /	[10.5+0.3%]	/65-60% /	[23.1+23.4%]	/78-81% /	[58+42%] /77% / [1.7%]
Oel-71b	(1,671+10)	[0.1%]	(1,356+2,300)	[0.1+0.2%]	(2,086+64)	[0.2%]	(2,687+2,776)	[0.2+0.2%]	(9,872+6,331-16,203)
	[10+0.7%]	/97-90% /	[8+14%]	/93-95% /	[13+0.4%]	/54-43% /	[16.6+17.1%]	/60-67% /	[61+39%] /71% / [1.3%]
Pla-71b	(1,864+110)	[0.2%]	(2,288+2,789)	[0.2+0.2%]	(1,660+115)	[0.1%]	(2,832+1,617)	[0.2+0.1%]	(11,025+5,884-16,909)
	[11+0.7%]	/95-92% /	[14+16%]	/94-95% /	[9.8+0.7%]	/23-23% /	[17+9.6%]	/28-24% /	[65+35%] /41% / [1.4%]
Schw-71b	(622+63)	[0.1%]	(1,314+887)	[0.1+0.1%]	(1,583+53)	[0.1%]	(5,644+10,507)	[0.5+0.9%]	(12,336+12,394-24,730)
	[3+0.3%]	/83-88% /	[5+4%]	/85-87% /	[6+0.2%]	/50-35% /	[23+42%]	/62-71% /	[49.9+50.1%] /64% / [2.0%]
Zwi-71b	(2,775+163)	[0.2%]	(3,394+4,887)	[0.3+0.4%]	(4,358+500)	[0.4%]	(12,829+5,115)	[1.1+0.4%]	(27,863+13,362-41,225)
	[7+0.4%]	/95-95% /	[8+11.9%]	/95-96% /	[10.6+1%]	/50-48% /	[31+12.4%]	/56-61% /	[68+32%] /60% / [3.4%]
協定-71b	(1,539+79)	[0.1%]	(1,748+2,842)	[0.1+0.2%]	(6,356+287)	[0.5%]	(7,129+5,775)	[0.6+0.5%]	(19,427+10,305-29,732)
	[2+0.3%]	/91-86% /	[6+10%]	/93-96% /	[21+1%]	/43-40% /	[24+19%]	/43-56% /	[65+35%] /50% / [2.4%]
Z県-71b	(14,636+883)	[1.2+0.1%]	(19,029+23,596)	[1.6+1.9%]	(35,210+2,223)	[2.9+0.2%]	(69,384+62,503)	[5.7+5.1%]	(168,547+103,818-272,365)
	[5+0.3%]	/92-90% /	[7+9%]	/93-95% /	[13+0.8%]	/50-49% /	[25+23%]	/54-65% /	[62+38%] /60% / [22.4%]
Bau-71b	(3,755+392)	[0.3%]	(4,573+6,553)	[0.4+0.5%]	(3,735+564)	[0.4%]	(6,518+3,790)	[0.5+0.3%]	(23,660+15,177-38,837)
	[9.7+1.0%]	/97-96% /	[12+17%]	/98-98% /	[9.6+1.4%]	/74-57% /	[17+9.8%]	/75-86% /	[61+39%] /80% / [3.2%]
Kam-71b	(2,305+174)	[0.2%]	(2,818+4,157)	[0.2+0.3%]	(1,904+98)	[0.2%]	(3,701+1,923)	[0.3+0.2%]	(13,391+8,108-21,500)
	[11+0.3%]	/97-94% /	[13+20%]	/98-98% /	[9+0.5%]	/64-69% /	[17+9%]	/71-84% /	[62+38%] /80% / [1.8%]
Lob-71b	(2,301+104)	[0.2%]	(3,000+3,609)	[0.2+0.3%]	(8,674+1,641)	[0.8%]	(7,169+9,721)	[0.6+0.8%]	(26,442+17,869-44,311)
	[5+0.4%]	/97-93% /	[7+8%]	/98-97% /	[20+4%]	/92-93% /	[16+22%]	/86-96% /	[60+40%] /91% / [3.6%]
Zit-71b	(1,568+68)	[0.1%]	(2,130+2,904)	[0.2+0.2%]	(5,664+185)	[0.5%]	(10,154+11,600)	[0.8+0.9%]	(23,693+16,580-40,273)
	[4+0.2%]	/88-87% /	[5+7%]	/93-94% /	[14+0.5%]	/85-56% /	[25+29%]	/83-91% /	[59+41%] /80% / [3.3%]
B県-71b	(9,929+798)	[0.8+0.1%]	(12,521+17,223)	[1.0+1.4%]	(19,977+2,488)	[1.6+0.2%]	(27,540+27,034)	[2.3+2.2%]	(87,186+57,735-144,921)
	[7+0.6%]	/96-94% /	[9+12%]	/97-97% /	[14+2%]	/83-77% /	[19.0+18.7%]	/80-92% /	[60+40%] /83% / [11.9%]
王国-71b	(53,266+3,645)	[4.4+0.3%]	(76,417+95,614)	[6.3+7.9%]	(76,124+8,978)	[6.3+0.7%]	(158,667+106,848)	[13.0+8.8%]	(475,786+278,745-754,531)
	[7+0.5%]	/94-92% /	[10.13+13%]	/95-96% /	[10.09+1%]	/53-49% /	[21+14%]	/55-65% /	[63+37%] /62% / [6.2%]

Z県の9郡とB県の全4郡、計18郡は5割以上であった。特にFre, CheとSchwの3郡は71-77%で、Aue, Mar, BauとKamの4郡は81-86%であり、LöbとZitの2郡は91-96%に上った。

対王国総人口比で見ると、農村農業経営者の比率はB県で最も低く（0.4%）、L県で0.5%、D県とZ県で最も高かった（0.6%）。農業労働者の比率はB県で最も低く（1.2%）、Z県1.6%、L県1.8%で、D県は最も高かった（2.0%）。農村工業経営者の比率はD県とL県で0.5%、B県0.9%、Z県は最も高かった（1.5%、D県とL県の比率の3倍）。工業労働者の比率はL県が最も低く（1.3%）、D県1.8%、B県2.2%と続き、Z県が最も高かった（5.1%、L県の比率の4倍弱）。このように農村の工業経営者と工業労働者に関してZ県の地位は王国において圧倒的で、B県が第2位であった。

就業者計に占める、農業経営者①の比率（以下は四捨五入値で記述する）は、王国農村で8%で、県農村では、Z県が最も低く（5%）、B県とL県の順で、D県が最も高かった（10%、Z県の比率の2倍）。郡農村では、就業者郡計に占める①の比率は、D県6郡7-15%、L県6郡4-13%、Z県10郡2-12%、B県4郡4-11%であった。郡では、同比率は2%の協定所領が最も低く、同比率が5%以下の郡は、L県Leip郡、Z県5郡（Ann, Aue, Che, Schwと協定所領）、および、B県Zit郡、計7郡であった。①の比率は15%のGron郡が最も高く（①が最も低い協定所領の比率の7倍以上）、同比率が10%以上の郡は、D県3郡（Dip, GronとPir）、L県2郡（BorとGri）、Z県2郡（OelとPla）、および、B県北部2郡、計9郡であった。

就業者計に占める、農業労働者②の比率は王国農村で23%で、県農村では、Z県が最も低く（16%）、B県、D県の順で、L県が最も高かった（31%、Z県の比率の2倍弱）。郡農村で農業労働者②の比率は、D県6郡20-39%、L県6郡14-42%、Z県10郡8-30%、B県4郡12-33%であった。②の比率は8%のChe郡が最も低く、同比率が15%以下の郡はLeip郡、Z県4郡（Ann, Aue, CheとSchw）、および、B県南部2郡、計7郡であった。②の比率が最も高い郡は、Gri郡（42%、②が最も低いChe郡の比率の5倍）で、同比率が36%以上の郡はD県2郡（GronとMei）、および、L県4郡（Bor, Döb, GriとOsc）、計6郡であった。

就業者計中の工業経営者③の比率は王国農村で11%で、県農村では、D県とL県が同率で低く（7%）、Z県がそれに次ぎ、B県が最も高かった（16%、D県とL県の比率の2倍以上）。郡農村で③の比率はD県6郡6-10%、L県6郡5-13%、Z県10郡6-22%、B県4郡10-24%であった。③の比率が最も低い郡は、Bor郡（5.4%）で、次がDre郡（5.8%）であった。③の比率が6.8%以下の郡は、D県2郡（DreとGron）、L県3郡（Bor, DöbとGri）、および、Z県Schw郡、計6郡であった。③の比率が最も高い郡は、Löb郡（24%、③が最も低いBor郡の比率の4倍以上）で、協定所領22%、Che郡19%、Zit郡15%、Oel郡とRoc郡13%、

第20 (2) 表 農業・工業就業者数の対比 (1871年)

郡	①	②	③	④	⑤	⑥	⑥/⑤	②/①	④/③	郡	①	②	③	④	⑤	⑥	⑥/⑤	②/①	④/③
Dip-71b	10.5	34	8	24	44.5	32	72	3.2	3	Che-71b	3.2	8	19	56	11.2	75	670	2.5	2.9
Dre-71b	6.5	20	5.8	32	26.5	37.8	143	3.1	5.5	Flö-71b	6.3	23	11.8	38	29.3	49.8	170	3.7	3.2
Fre-71b	6.5	21.3	9.7	37.5	27.8	47.2	170	3.3	3.9	Mar-71b	5.3	18	10.8	46.5	23.3	57.3	246	3.4	4.3
Gron-71b	14.8	37	6	12.8	51.8	18.8	36	2.5	2.1	Oel-71b	10.7	22	13.4	33.7	32.7	47.1	144	2.1	2.5
Mei-71b	9.7	39	7	16	48.7	23	47	4	2.3	Pla-71b	11.7	30	10.5	26.6	41.7	37.1	89	2.6	2.5
Pir-71b	10.8	31	7	19	41.8	26	62	1.9	2.7	Schw-71b	3.3	9	6.2	65	12.3	71.2	579	2.6	10.5
D県-71b	9.6	29	7	25	38.6	32	83	3.0	3.6	Zwi-71b	7.4	19.9	11.6	43.3	27.3	55	201	2.7	3.7
Bor-71b	12.9	40	5.4	11	52.9	16.4	31	3.1	2.0	協定-71b	2.3	16	22	43	18.3	65	355	3.0	2.0
Döb-71b	9.6	36	6.8	22	45.6	28.8	63	3.8	3.2	Z県-71b	5.3	16	13.8	48	21.3	69.3	325	3.0	3.5
Gri-71b	12.1	42	5.9	13	54.1	19	35	3.6	2.2	Bau-71b	10.7	29	11	26.8	39.7	37.8	95	2.7	2.4
Leip-71b	4.4	14	7.1	30	18.4	37	201	3.2	4.3	Kam-71b	11.3	33	9.5	26	44.3	35.5	80	2.9	2.7
Osc-71b	9.5	37	7	11	46.5	18	39	3.9	1.6	Löb-71b	5.4	15	24	38	20.4	62	304	2.8	1.6
Roc-71b	9.5	29	13.1	29.3	38.5	42.4	110	3.1	2.2	Zit-71b	4.2	12	14.5	54	16.2	68.5	423	2.9	3.7
L県-71b	8.5	30.8	7	21.6	39.3	28.6	73	3.6	3.1	B県-71b	7.6	21	16	37.7	28.6	53.7	188	2.8	2.4
Ann-71b	4.2	12	8.3	57	16.2	65.3	403	2.9	6.9	王国-71b	7.5	23.1	11.1	35	30.6	46.1	151	3.1	3.2
Aue-71b	4.3	13	12	54	17.3	66	382	3.0	4.5										

さらに、Aue, FlöとZwiの3郡が続いた。これら計9郡が同比率約12%以上であった（L県1郡、Z県6郡、B県南部2郡）。

就業者計中の工業労働者④の比率は王国農村で35%、県農村では、L県が最も低く（22%）、D県、B県の順で、Z県が最も高く、48%（L県の比率の2倍以上）であった。郡農村で④の比率はD県6郡13-38%、L県6郡11-30%、Z県10郡27-65%、B県4郡27-54%であった。④の比率が最も低い郡は、L県2郡（BorとOsc, 11%）で、同比率が19%以下の郡は、D県3郡（Gron, MeiとPir）およびL県3郡（Bor, GriとOsc）、計6郡であった。④が最も高い郡は、Schw郡（65%、④が最も低い、BorとOscの2郡の比率の約6倍）で、次がAnn郡（57%）、Che郡（56%）、AueとZitの2郡（54%）であった。それらに、Mar, Zwi郡と協定所領を加えた8郡（Z県7郡、B県1郡）が、43%以上の④の比率を示した。

第20（1）表の農業経営者①、農業労働者②、工業経営者③と工業労働者④の比率を抜き出し、①と②の計を農業就業者⑤とし、③と④の計を工業就業者⑥として、⑥／⑤を、さらに、②／①と④／③を計算した結果が、第20（2）表である。

⑤の比率は王国農村の31%に対してZ県21%、B県29%、D県とL県39%（Z県の比率の2倍弱）であった。郡農村で見ると、⑤はD県27-52%、L県18-54%、Z県11-42%、B県16-44%、であった。⑤が30%以下の郡としてD県2郡（DreとFre）、L県Leip郡、Z県9郡（Plaを除く）、および、B県南部2郡、計14郡があった。⑤が最も低いのはChe郡（11%）であった。⑤が40%以上の郡としてD県4郡（DreとFreを除く）、L県4郡（LeipとRocを除く）、Z県Pla郡、および、B県北部2郡、計11郡があった。⑤が最も高いのはGri郡（54%、⑤が最も低いChe郡の比率の約5倍）であった。

⑥の比率は王国農村の46%に対してL県29%、D県32%、B県54%、Z県69%（L県の比率の2倍）であった。郡農村では⑥の比率は、D県19-47%、L県16-42%、Z県37-71%、B県36-69%、であった。⑥が30%以下の郡はD県3郡（Gron, MeiとPir）、および、L県4郡（LeipとRocを除く）、計7郡であった（Z県とB県はゼロ）。⑥が最も低いのはBor郡（16%）であった。⑥が40%以上の郡はD県Fre郡、L県Roc郡、Z県9郡（Plaを除く）、および、B県南部2郡、計13郡であった。⑥が最も高いのはSchw郡（71%、⑥が最も低いBor郡の比率の4.4倍）であった。

⑤が30%以下で、同時に⑥が40%以上である農村地域を、工業的色彩の濃厚な農村地域と見なし、⑤が40%以上で、同時に⑥が30%以下である農村地域を、農業的色彩の濃厚な農村地域と見なすならば、王国農村およびB県とZ県は工業的色彩の濃厚な邦であり、県であった。農業的色彩の濃厚な県はなかった。郡では、D県2郡（GronとMei）、および、L県4郡（Bor, Döb, GriとOsc）、計6郡は農業的色彩の濃厚な郡であり、D県2郡（DreとFre）、Z県8郡（OelとPlaを除く）、および、B県南部2郡、計12郡は工業的色彩の濃厚な郡であった。残りの8郡、D県2郡（DipとPir）、L県2郡（LeipとRoc）、Z県2郡（OelとPla）、および、B県北部2郡、は中間的であり、その多くは⑤が30%以上で、⑥が40%以下であった。

指標⑥／⑤は、王国農村の188に対してL県73、D県83、B県188、Z県352であった。農村の工業就業者は、L県とD県で農業就業者の7-8割に過ぎなかったけれども、王国全体とB県では約190で、Z県では350であった（L県の比率の5倍弱）。B県、特にZ県、の農村では工業就業者が極めて多かった。そのために、王国農村でも、工業就業者が農業よりも多くなった。郡では、⑥／⑤の比率はD県36-170%、L県31-201%、Z県89-670%、B県80-423%、であった。⑥／⑤が100以下の郡はD県4郡（DreとFreを除く）、L県4郡（LeipとRocを除く）、Z県Pla郡、および、B県北部2郡、計11郡であった。ここでは工業就業者に対して農業就業者が優越していた。⑥／⑤が100以上の郡はD県2郡（DreとFre）、L県2郡（LeipとRoc）、Z県9郡（Plaを除く）、および、B県南部2郡、計15郡であり、ここでは、農業就業者に対して工業就業者が多数を占めていた。

①の比率に対する②の比率は、王国農村で3.1であり、B県2.8、D県とZ県3.0、L県3.6、であった。農業経営者に対して農業労働者の数がB県で少なく、L県で多かった。郡農村における②／①の比率は、D県1.9-4.0、L県3.1-3.9、Z県2.1-3.7、B県2.7-2.9であった。②／①の比率が最も低い郡は、Pir郡(1.9)で、次がOel郡(2.1)であった。この比率が2.6以下である、D県2郡(GronとPir)、および、Z県4郡(Che, Oel, PlaとSchw)、計6郡の農村では、農業経営者に対して農業労働者が少なかった。同比率が最も高い郡は、Mei郡(4倍、同比率が最も低いPir郡の比率の2倍)で、次がOsc郡(3.9倍)であった。②／①の比率が3.4以上である、D県Mei郡、L県3郡(Döb, GriとOsc)、および、Z県2郡(FlöとMar)、計6郡の農村では、農業経営者に対して農業労働者が多かった。

④／③の比率は王国3.2、B県2.4、L県3.1、Z県3.5、D県3.6であった。工業経営者に対して工業労働者は、B県で最も少なく、D県で最も多かった。郡農村における④／③の倍率はD県2.1-5.5、L県1.6-4.3、Z県2.0-10.5、B県1.6-3.7であった。④／③の倍率が最も低い郡は、OscとLöbの2郡(1.6倍)で、この倍率が2.2倍以下である、D県Gron郡、L県4郡(Bor, Gri, OscとRoc)、および、B県Löb郡、計6郡の農村は、工業経営者に対して工業労働者が少なかった。④／③の倍率が飛び抜けて高い郡は、Z県Schw郡(10.5倍、最も低い、OscとLöb郡の6倍)、次がAnn郡(6.9)、Dre郡(5.5)であった。この倍率が4.2以上である、D県Dre郡、L県Leip郡、および、Z県4郡(Ann, Aue, MarとSchw)、計6郡の農村は、農村工業経営者に対して工業労働者が多かった。

第15節注

(注1) Berufszählung 1882 (2), S. 22.

(注2) Berufszählung 1895 (4), S. 88. —問屋企業は「雇主」(Arbeitgeber)とも呼ばれた。Berufszählung 1895 (5), S. 163.

(注3) Berufszählung 1907 (2), S. 4.

(注4) Krebs 1911, S. 303 (ここには比率のみが記されている)。—職業・営業調査は工業を18に大区分して、実施されたが、この18中の14大区分で家内工業が確認された。

(注5) Krebs 1911, S. 300-303から作成。82年の経営王国計、繊維工業経営計、就業者王国計はBerufszählung 1882 (3) (S. 24)と一致するが、繊維工業就業者計はいくらか異なる。07年の数値はBerufszählung 1907 (5) (S. 274)とほぼ同じである。なお、統計局の82年職業調査報告に次の指摘がある。ザクセンの家内工業就業者の多くは貧窮している。例えば、ラウジツの織布工は異常な勤勉さと妻子の助力によってのみ、僅かな生活費を獲得している。一般に手織業は、機械織布が価格に及ぼす圧力の下で、苦境にある。他方で、いくつかの業種、例えば、靴下製造業、手袋製造業では、家内工業は大工業と共存している。Berufszählung 1882 (3), S. 24-25.

(注6) Krebs 1911, S. 307. —本表の全工業と繊維工業の間屋経営計はそれぞれの家内工業経営者計(第19(2)表)よりも当然小さい。また、95年の下請就業者計および07年の全工業男性就業者と繊維工業男性就業者は第19(2)表の数値よりも大きい。家内工業経営者が申告した就業者数(A, 第19(2)表)と、問屋企業が申告した下請就業者数(B, 本表)が一致しない理由は、クレプスによれば、主として次の点にあった。Aは、①調査時点(6月)の人数であり、②国内居住者のみの人数であるのに対して、Bは、①季節変動(家内工業就業者は冬期に増加する)を考慮した上で、問屋企業が調査年に就業させる最大人数であり、②問屋企業は、外国に居住する下請就業者をも申告した。③多くの家内工業経営者はその子供たちの協働を申告しなかった。また、フォークトランドの女性ばかりでなく、中・大都市の中産階級の女性たちも副業として刺繍業、レース製造業などに従事しているけれども、彼女たちは職業統計の副業として申告されていない。Krebs 1911, S. 299, 317.

(注7) Krebs 1911, S. 300-302から作成。

(注8) クレプスによれば、家内織布工は、長時間労働と低報酬によってのみ機械に対抗している。Krebs 1911, S. 311.

(注9) Berufszählung 1882 (3), S. 82-83から作成。本表の各業種就業者計は、組紐製造業を除いて、第19(2)表82年のそれよりも小さい。特に下請経営計は、第19(2)表のその5割以下である(ただし、レース漂白業と靴下仕上げ業は片方の表にのみ表示)。これは家内工業の定義の変更に基づく、と考えられる。

(注10) Berufszählung 1895 (4), S. 89から作成。副業的就業者、および、本業就業者の中で、家長とその家族以外の「その他の親族」は、少数であるので、省略した。また、生業としない(nicht erwerbend tätig)人は、多数であるが、省略した。本表の家長は自立的補助者(労働者)を含むのではなかろうか。本表の本業就業者計、同男性計と同女性計は第19(2)表の同年繊維工業のそれよりも小さい。

(注11) Berufszählung 1895 (5), S. 160-161から作成。本表の就業者計は第19(4)表の95年と同じである。なお、原動機を持つ本業経営は、繊維工業本業経営約59千の中で僅か585であった(a. a. O, S. 161)が、原動機を持つ単独就業者経営の数(本表

で複数就業者経営に含まれている)は不明である。

(注12) Berufszählung 1895 (5), S. 163から作成。ただし、就業者計500人以上の業種のみ。

(注13) Berufszählung 1907 (5), S. 274-275から作成。本表の各業種就業者と繊維工業の就業者計は第19 (2) 表とほぼ同じである。したがって、本表の数値は家内工業経営者の申告に基づくであろう。なお、繊維工業家内工業について、07年に、就業者王国計 (1) は69,012人 (第19 (2) 表) であり、第19 (9) 表によれば、単独就業者経営王国計 (2) は40,563であった。後者の就業者は (2) と同じ40,563人であろう。(2) の人数は (1) の59%に当たる。95年には (1) は64,636人で、(2) は48,610人であり、(2) は (1) の75%に当たる (第19 (6) 表)。

(注14) Berufszählung 1882 (3), S. 25から作成。本表表示3県の綿織物業、靴下製造業とレース製造業の就業者計、そして、繊維工業8業種の就業者計は、第19 (4) 表の数値を上回る。そのために、それらの [%] の合計は100%を超える。

(注15) Berufszählung 1907 (5), S. 275-279から作成。なお、D県には400人以上の業種がなかった。

(注16) Berufszählung 1907 (5), S. 280-283から作成。

(注17) クレープスによれば、王国で刺繍業とレース製造業の家内工業において経営計が増加した。単独就業者経営も複数就業者経営も小規模機械を導入して、増加した。補助者の増加はさらに顕著であった。その場合、就業者の増加は、繊維工業の他の業種と異なって、男性の増加として現れた。すなわち、男性比率は82年30%→95年33%→07年40%であった。機械の操作に男性が必要であったからである。レース製造業に限定すると、家内工業経営計に占める、単独就業者経営の比率は82年92.3%→95年67.9%→07年52.0%と著しく低下し、2-5人経営の比率は82年6.0%→95年23.7%→07年33.8%に、そして、6人以上経営 (51人以上を含む) の比率は82年1.7%→95年8.4%→07年14.2%に、顕著に上昇した。Krebs 1911, S. 318-320。——ただし、レース製造業における複数就業者経営の比率上昇は、就業者数第2位のPla郡で、特に、就業者数最大のAue郡で、著しかった。比率の上昇はZwi郡とSchw郡が続いた。刺繍業 (次項) では経営規模拡大は就業者最大のSchw郡でのみ看取される。

(注18) Gla郡には、無数の織布工場が建設されたけれども、同郡の全集落に07年にも多数の手織工 (麻織物を除く) がおり、その数は他の郡よりも遥かに多い。織物業の第2の中心はラウジツである。南部は麻織物業で、北部は毛織物業である。ツィタウ周辺の大規模村落では織物業が今もなお生業として圧倒的な地位を占めている (かつては麻織物、現在では綿織物)。カーメンツ郡の大部分の手織工は、毛織物とともにリボンを製作する。Krebs 1911, S. 313。靴下製造業の中心地はChe郡であり、人口の1/4を扶養しており、家内工業も最も多い。Gla郡とAnn郡がそれに次ぐ。これらの郡に靴下製造業家内工業者の9割以上が居住している。Krebs 1911, S. 316。かつてフォークトラント (Aue郡、Oel郡とPla郡) に多数いた手織工は、消滅したが、同地で刺繍業とレース製造業が躍進した。刺繍業とレース製造業は、家内工業就業者数の第2位である。Krebs 1911, S. 313, 317。

第16節注

(注1) Berufszählung 1871 (2), S. 15-111から作成。

追加文献

Berufszählung 1895 (5) = Georg Wächter, "Die Berufs- und Gewerbebezahlung am 14. 7. 1895, Zweiter Abschnitt, 2, (b), 1. Textilindustrie", in: St. Zeitschrift, Bd. 44, 1898.

Krebs 1911 = Willy Krebs, "Das Hausgewerbe nach den Berufs- und Gewerbebezahlungen von 1882, 1895 und 1907", in: St. Zeitschrift, Bd. 57, 1911.

本稿の作成に当たって黒川勝利氏と國米充之氏が与えられた援助は、極めて大きかった。ここに心からの謝意を表する。